

平成 26 年度 使用済製品等のリユース促進事業研究会
報告書

平成 27 年 3 月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室

《目次》

本事業の目的と概要.....	1
第1章 使用済製品等のリユースに関するモデル事業.....	6
I. 東京都八王子市.....	7
II. 神奈川県逗子市.....	19
III. 愛知県武豊町.....	40
第2章 使用済製品等のリユースに関するモデル事業の取りまとめ.....	49
I. 使用済製品等のリユースに関するモデル事業フォローアップ調査結果.....	49
II. 市町村による使用済製品等のリユース取組促進のための手引き（案）.....	70
第3章 中古衣類を対象とした海外でのリユース実態調査.....	135
第4章 インターネットオークション・宅配リユースに関する実態調査.....	147
第5章 リユース関連事業者との意見交換会の開催.....	170
第6章 使用済製品等のリユース促進事業 分科会での検討結果.....	174
別添 リユース業界に関わる関係法令(環境関連法以外)の整理（案）.....	178

本事業の目的と概要

使用済製品の3R（リデュース、リユース、リサイクル）のうち、リサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法や資源の有効な利用の促進に関する法律に基づき、一定程度進展しつつある一方で、製品の適正な継続使用の促進を通じた廃棄物の減量化（リデュース、リユース）については、より一層の促進が必要とされている。

平成22年度より「使用済製品等のリユース促進事業研究会」を設置し、環境保全上の効果の点からも推進することが望ましいリユースに関する様々な取組の活性化を図るため事業を実施しているところである。

平成26年度の事業では、市町村とリユース業者や市民団体・NPO等との連携によるリユースモデル事業の実施及び平成23・24・25年度に実施したリユースモデル事業のフォローアップ調査を行うとともに、モデル事業の成果を踏まえ、他の地域で展開・波及するための実施手順を示す「市町村によるリユース取組み促進のための手引き（案）」を作成した。

また、リユースの実態に関する調査として、中古衣類を対象とした海外でのリユース実態調査、インターネットオークション・宅配リユースに関する実態調査を行い、今後のリユース推進に向けた課題や支援策を検討した。

リユース事業者との意見交換会を開催しリユース促進に向けた方向性について検討を行うとともに、分科会を設置し、リユース業界を取り巻く法的環境（環境関連法以外）の整理の検討及びリユースに関する国際動向調査等を通じて、リユースを促進するための制度や政策設計について検討を行った。

平成26年度 使用済製品等のリユース促進事業研究会 研究会メンバー

<座長>

三橋 規宏 千葉商科大学 名誉教授

<委員>

小野田弘士 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 准教授
加藤 正 公益財団法人市川市清掃公社 前理事長
黒田 武志 リネットジャパングループ株式会社 代表取締役社長
佐々木五郎 公益社団法人全国都市清掃会議 専務理事
佐々木 創 中央大学経済学部 准教授
杉 研也 日本リユース業協会 事務局
杉本 亨 ヤフー株式会社ヤフオク！カンパニー サービス推進本部リユース推進部部長
田崎 智宏 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター循環型社会システム研究室室長
手塚 一郎 清和大学法学部 講師
長沢 伸也 早稲田大学大学院商学研究科 教授
波多部 彰 一般社団法人日本リユース機構 代表理事
服部美佐子 NPO 法人持続社会を実現する市民プロジェクト 代表理事
藤田 慎 一般社団法人ジャパンリサイクルアソシエーション 代表理事
和田 由貴 3R推進マイスター、節約アドバイザー

<オブザーバー>

信田 哲宏 経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課 課長補佐
白石 雅裕 経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課 企画三係長（3R担当）
伊藤 晓 経済産業省商務情報政策局情報通信機器課環境リサイクル室 室長補佐
守安あざみ 経済産業省商務情報政策局情報通信機器課環境リサイクル室 係長

<事務局（環境省）>

庄子 真憲 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室 室長
谷貝 雄三 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室室長補佐
川崎 直也 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室室長補佐
伊藤 宏充 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室室長補佐
玉井 和仁 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室係長
山崎 剛 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室主査
加藤 昂紀 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室

<事務局（委託先）>

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部

平成26年度 使用済製品等のリユース促進事業研究会 検討の経緯

【第15回 研究会（11月20日（木）10：00～12：00】

＜議題＞

- (1) 平成25年度事業の成果の取りまとめについて
- (2) 平成26年度の実施内容について
 - 1 市町村における使用済製品リユースモデル事業の概要
 - 2 モデル事業のフォローアップ調査・モデル事業の取りまとめ
 - 3 中古衣類を対象とした海外でのリユース実態調査
 - 4 インターネットオークション・宅配リユースに関する実態調査

【第16回 研究会（2月23日（月）10：00～12：00】

＜議題＞

- (1) 市町村における使用済製品リユースモデル事業（中間報告）
- (2) モデル事業のフォローアップ調査・モデル事業の取りまとめ（中間報告）
 - 1 フォローアップ調査の結果報告（平成23～25年度実施地域）
 - 2 モデル事業の取りまとめイメージについて
- (3) 平成26年度のリユース実態調査の実施状況
 - 1 中古衣類を対象とした海外のリユース実態調査
 - 2 インターネットオークション・宅配リユースに関する実態調査
- (4) 平成27年度の事業の進め方について

【第17回 研究会（3月31日（火）10：00～12：00】

＜議題＞

- (1) 市町村における使用済製品リユースモデル事業（成果報告）
- (2) 市町村における使用済製品リユースモデル事業の取りまとめ（案）について
- (3) 平成26年度のリユース実態調査の報告
- (4) 意見交換会・分科会での検討結果の報告
 - 1 リユース関連事業者との意見交換会について
 - 2 使用済製品等のリユース促進事業研究会 分科会の検討結果について

リユース業界を取り巻く環境関連法の法的環境整理に関する分科会 分科会メンバー

<座長>

三橋 規宏 千葉商科大学 名誉教授

<委員>

阿部 鋼	阿部記念法律事務所 所長
岩城 吉英	大阪湾広域臨海環境整備センター 業務課 課長補佐
佐々木 創	中央大学経済学部 准教授
田崎 智宏	国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター循環型社会システム研究室室長
手塚 一郎	清和大学法学部 講師

<事務局（環境省）>

谷貝 雄三	環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室	室長補佐
川崎 直也	環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室	室長補佐
伊藤 宏充	環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室	室長補佐
玉井 和仁	環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室	係長
山崎 剛	環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室	主査
加藤 昂紀	環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室	

<事務局（委託先）>

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部

リユース業界を取り巻く環境関連法の法的環境整理に関する分科会 分科会検討の経緯

【第1回 分科会（12月12日（金）10：00～12：00】

＜議題＞

- (1) 本分科会の目的と概要について
- (2) リユース業界に関わる関係法令の整理(環境関連法以外)について
- (3) リユースに係る国際動向について
- (4) リユースを促進するための制度や政策設計について
- (5) リユース促進のための意見交換

【第2回 分科会（3月6日（金）10：00～12：00】

＜議題＞

- (1) リユース業界に関わる関係法令の整理(環境関連法以外)について
- (2) リユースに係る国際動向について
- (3) リユースを促進するための制度や政策設計について（意見交換）

第1章 使用済製品等のリユースに関するモデル事業

市町村等とリユース事業者や市民団体・NPO 等とが連携し、リユースを促進するためのモデル事業を実施した。平成 26 年度のモデル事業は、都道府県・市町村からの事業内容提案型として募集し、地域の特性、状況や規模等を鑑みて検討した結果、東京都八王子市、神奈川県逗子市、愛知県武豊町の 2 市 1 町で実施、各地域のプランの概要は以下の通りである。

	東京都八王子市	神奈川県逗子市	愛知県武豊町
事業の名称	リユースショップと連携した「大学リユース市」事業	地域密着型リユース・ライフスタイルの普及促進事業	たけとよりリユースステーション（仮称）
事業の概要	大学を卒業する学生が不要とする家具等を、行政の支援のもと、無償で新入生に提供するイベント「大学リユース市」を、中央大学、リユースショップ、関連自治体（多摩市・日野市）と連携のもと実施する。また、学生と共に「リユースショップ紹介冊子」を作成し、大学や市のイベント等で配布する。	市内 3 カ所程度で住民間でのリユースを実施するイベント「エコ広場サテライト」を開催。地域通貨「Zen」を活用してリユース品の流通の活性化を図る。また、市民へのリユース・ライフスタイルの普及のため、パンフレット・パネル等に加え、シンポジウムを開催。また、リユースに関する情報交換の仕組みとして、Face Book を活用する。	家庭に眠る「自分では使用しないが、使用できるもの」を住民間でリユースする取組。住民から集めたリユース品を会場に展示、参加者が持ち帰るイベント「武豊リユースパーク」を開催する。平成 22 年より上記イベントを実施しているが、常設のリユース施設の開設を、町内事業者と連携しながら検討する。
リユース対象品目	家具類（収納ケース、机、テーブル、ソファ等）、家電製品、楽器、ゲーム機器、CD・DVD、自転車など	日用品・生活雑貨（食器、台所用品等）、書籍、子ども用品（おもちゃ等）、小型家電など	日用品・生活雑貨（食器、台所用品等）、書籍、子ども用品（おもちゃ等）、衣類・服飾品、CD・DVD など
役割分担	【行政】企画・開催、広報、残余品の処理 多摩市、日野市と連携。 【中央大学】企画・開催、広報・周知（SNS 等活用）、リユース品の提供・譲渡の窓口 【民間事業者】一部リユース品の買取	【行政】企画・開催支援、市民への広報協力 【市民団体】イベント企画・開催、市民への広報資料作成、残った製品の整理	【行政】企画・開催、広報、残余品の管理・処理 【ボランティア団体等】残った製品の有効活用 【民間事業者】常設リユース施設の運営
実施日	大学リユース市は 3 月下旬～4 月上旬に開催	エコ広場サテライトは 12 ～ 2 月に 3 カ所で各 2 回ずつ開催 シンポジウムを 1 月に開催	「武豊リユースパーク」を 10 月 26 日（日）に開催、常設リユースステーションは 12 月中開店を目指す

I. 東京都八王子市

*八王子市のモデル事業は4月6日まで継続するものであり、3月31日時点での報告である。

1. リユースモデル事業の概要

1.1 プランの概要

市民・事業者との協働によるリユース促進を目的として、平成25年度より実施している「大学リユース市(以下、リユース市)」を中央大学、リユースショップ、関連自治体(多摩市・日野市)と連携のもと実施した。

リユース市とは大学を卒業する学生が不要となった家具等を、行政の支援のもと、無償で新入生に提供するイベントであり、中央大学FLP環境プログラム・佐々木創ゼミ(以下、佐々木ゼミ)の学生が主体となり、中央大学の卒業生に向けてリユース品の提供を呼びかけるとともに、家具等の大型のリユース品については、八王子市が回収を行った。

回収したリユース品は、3月26日から4月6日にかけて、イベント「リユース市」にて新入生への提供を実施する。さらにリユース品の一部をリユースショップに売却し、最終的に余ったリユース品については、八王子市が処理を行う。

また、八王子市周辺のリユースショップを紹介し、市民にリユースショップの利用を促す「リユースショップ紹介冊子(以下、リユース冊子)」を佐々木ゼミの学生と共同で作成し、大学や市のイベント等で配布した。

(1) 対象品目

卒業生から引き取るリユース品は、衣類、書籍、ゲーム、CD・DVD、収納ケース、カラーボックス、扇風機、テレビ台、机、テーブル、椅子、ソファー、スタンドミラー、棚、楽器(ギター・ベース)、小型家電などとした。なお、扇風機、小型家電に関しては、製造年が5年以内のものとした。

引き取りにあたっては、学生が「回収物品点検表」(別紙1参照)をもとにチェックを行い、引き取りの可否を判断した。

(2) 取り組みの概要

リユース市開催に向けた事前準備等を含めたスケジュールは表1のとおりである。

事前準備では、主に卒業生を対象に広報活動を行い、収集と持ち込みにより、計145点のリユース品を集めた。リユース市は、3月26日～4月6日に開催し、新入生に無償でリユース品の引き渡しを行う。また、3月23日にはリユースショップに協力を依頼し、収集したリユース品について事前に査定を行った。

今後はこの査定結果とリユース市での引き取り状況を踏まえ、「リユースショップで売れるが引き取りがなかったもの」や「売れないが引き取りがあったもの」等の学生のニーズの差を分析し、リユース市のような取り組みをどのような形で活用していくべきかを検討していきたい。

リユース市の実施後は、残ったリユース品の処理を行うとともに、効果測定、来場者アンケートの集計等を行う予定である。

表 1. リユース市開催に向けたスケジュール

日時	取組内容
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動（学園祭での出展、ちらしのポスティング、ウェブページ、ツイッターでの発信など） ・関係者との調整などの事前準備
12月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・リユース品の持ち込み品の受付を実施（計9回） ※全学生を対象に実施
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・リユース品の収集の実施（計8回） ※中央大学学生寮（以下、C's）及び大学周辺の住まいが対象
3月23日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・リユース事業者による回収品の査定 (次年度以降の持続的な取り組みに向けてのデータ収集)
3月26日（木）～4月6日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・リユース市の実施 (参加者にはアンケート調査を実施予定)
効果測定・成果取りまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・残ったリユース品の処理 ・効果測定、来場者アンケートの集計等

（3）役割分担

事業の実施に当たって、八王子市と中央大学で協定書を作成し、表2のとおり役割分担を行つた。なお、広報等については双方で積極的に実施していくこととした。

表 2. リユース市実施にあたっての役割分担

主体	内容
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ・家具等の運搬についての支援。 ・リユース市開催後の家具等の残余品についての処理を支援。
中央大学	<ul style="list-style-type: none"> ・家具等の提供についての受付。 ・提供を受けた家具等の保管。 ・リユース市を開催し、提供を受けた使用済家具等を新入生に引き渡す。 ・家具等のうち、売り払い可能なものの一部を、リユースショップに売却し、リユース市の運営資金に充当。

1.2 広報・PR等の方法

チラシは計4,800枚作成し（別紙2参照）、学内での配布・掲示やC'sへのポスティング、リユース市運営ボランティアの募集などで活用した。また、10月31日、11月2日の第48回中央大学白門祭（以下、白門祭）では、リユース市を宣伝するためのブースを出展し、昨年の取り組みの紹介も行った。

加えて、ウェブページやツイッターでの情報発信も継続的に行った。

表 3. 作成したチラシの内容と枚数

配布時期	内容	枚数
学園祭 (10月31日、11月2日)	新入生への物品提供案内	300枚
	卒業生への物品引き取り案内	300枚
	ボランティア募集	300枚
第1回ポスティング	卒業生への物品引き取り案内	900枚
第2回ポスティング	卒業生への物品引き取り案内	1,000枚
リユース市	新入生への物品提供案内	2,000枚
合計		4,800枚

表 4. 広報・PR等の実施状況

時期	周知方法	内容	詳細
10月14日	プレスリリース	中央大学広報室	環境省モデル事業採択
10月15日	プレスリリース	八王子市	環境省モデル事業採択
10月17日	テレビ放送	J:COM(ケーブルテレビ)	環境省モデル事業採択
10月31日 11月2日	イベント	白門祭	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布 ・スライド上映 ・アンケート調査 ・ボランティア募集
11月末	イベント	推薦合格者お部屋相談会	チラシ配布
12月1日	広報掲載	「広報はちおうじ」 平成26年12月1日号	
12月1日	HP掲載	ChuoOnline	
12月中旬 ～下旬	チラシポスティング (第1回)	対象: C's 約900戸	卒業生への物品引き取り案内
12月22日	HP掲載	中央大学F L P	卒業生への物品引き取り案内
12月24日	HP掲載	中央大学経済学部	卒業生への物品引き取り案内
12月末	学内周知	昼休み、授業終了後の教室などでチラシ配布	
12月末	ポスター掲示	学内掲示板	
1月下旬～ 2月上旬	チラシポスティング (第2回)	対象: C's 約900戸	卒業生への物品引き取り案内
1月下旬～ 2月上旬	ポスター掲示	C's 及び大学周辺の飲食店等	卒業生への物品引き取り案内
2月7日	イベント	八王子市 消費生活フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・リユースショップ紹介冊子配布 ・アンケート調査
3月	ポスター掲示	学内掲示板等	新入生への物品提供案内
3月16日	プレスリリース	八王子市	リユース市開催

2. モデル事業の利用状況・効果について

2.1 回収結果

回収したリユース品は計 145 点(32 件)で総重量は約 950 kg であった。また、仮に回収物品をすべて処分した場合、約 60,000 円の費用がかかる。

回収物品の内訳は図 1 のとおりで、「棚・引き出し等」が最も多く、「書籍」など対象品目的一部は提供されなかった。回収時に、リユース品提供者に実施したアンケートでは「物品をこの取り組みに提供しなかった場合の処理方法」として“廃棄する”が 66%と最も多く、粗大ごみの発生抑制に大きく寄与した。

また、今年度から回収範囲を多摩市・日野市にも広げ、日野市から 21 点(6 件)の回収を行った。

図 1. 回収物品の内訳 (N=145)

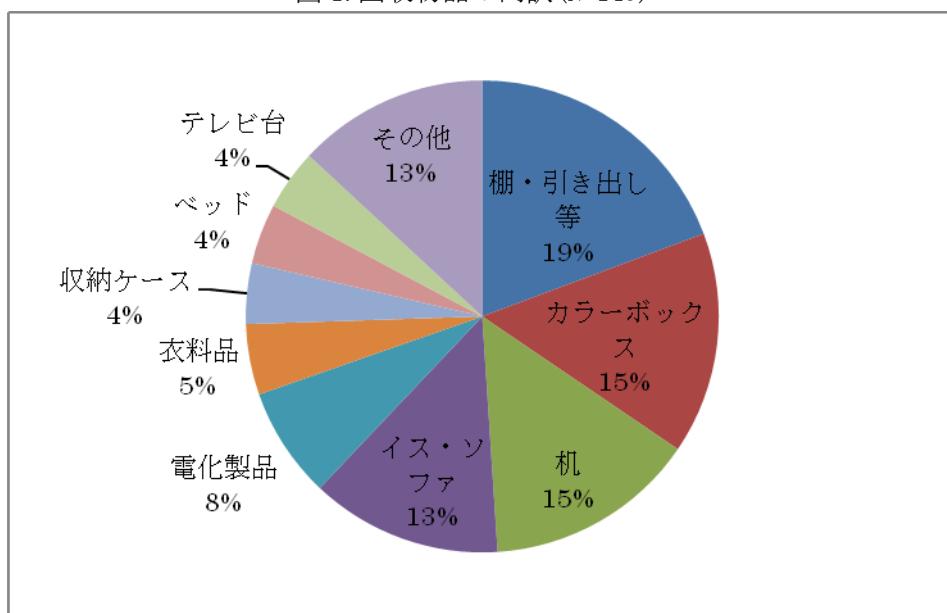
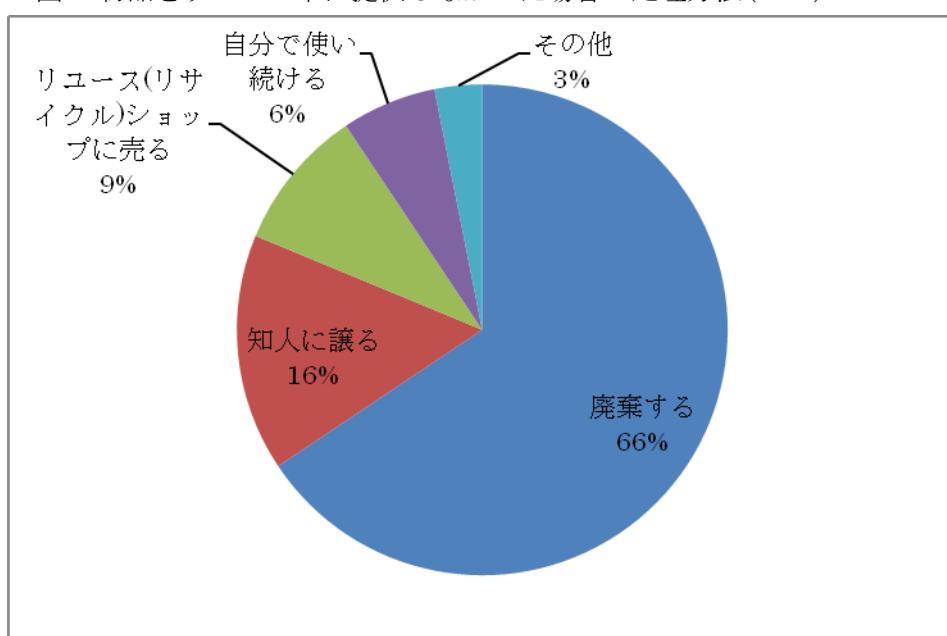


図 2. 物品をリユース市に提供しなかった場合の処理方法 (N=32)



2.2 査定結果

回収したリユース品の価値をはかるため、日本リユース業協会より紹介を受けた「株式会社トレジャー・ファクトリー」に依頼し査定を行った。

査定の結果、売り扱った場合の合計金額は19,400円で、最高価格は本棚の1,500円であった。また、“取り扱いがない”や“状態不良”などの理由から引取不可の品物が6.9%(10点)あったが、回収時に厳密な点検を行ったこともあり、残りの93.1%(135点)については有価又は無償での引き取りが可能であった。

品物別にみると、平均引取単価が最も高いのは「棚・引き出し等」の257円であった。こちらは引取不可になるものも少なく、回収品の対象としては適していたと考えられる。

また、「テレビ台」と「衣料品」については、数は多くなかったもののすべてに値段がついた。

一方、「収納ケース」や「電化製品」は、平均引取単価も低く、新入生の引き取りがなかった場合、残余品として処分する可能性が高いため、今後も回収対象とするべきか検討が必要である。

表.5 リユース品査定結果(N=145)

合計金額	最高価格	引取不可能品(無償引取除く)
¥19,400	¥1,500(本棚)	10点

図3. 価格別回収品点数(N=145)

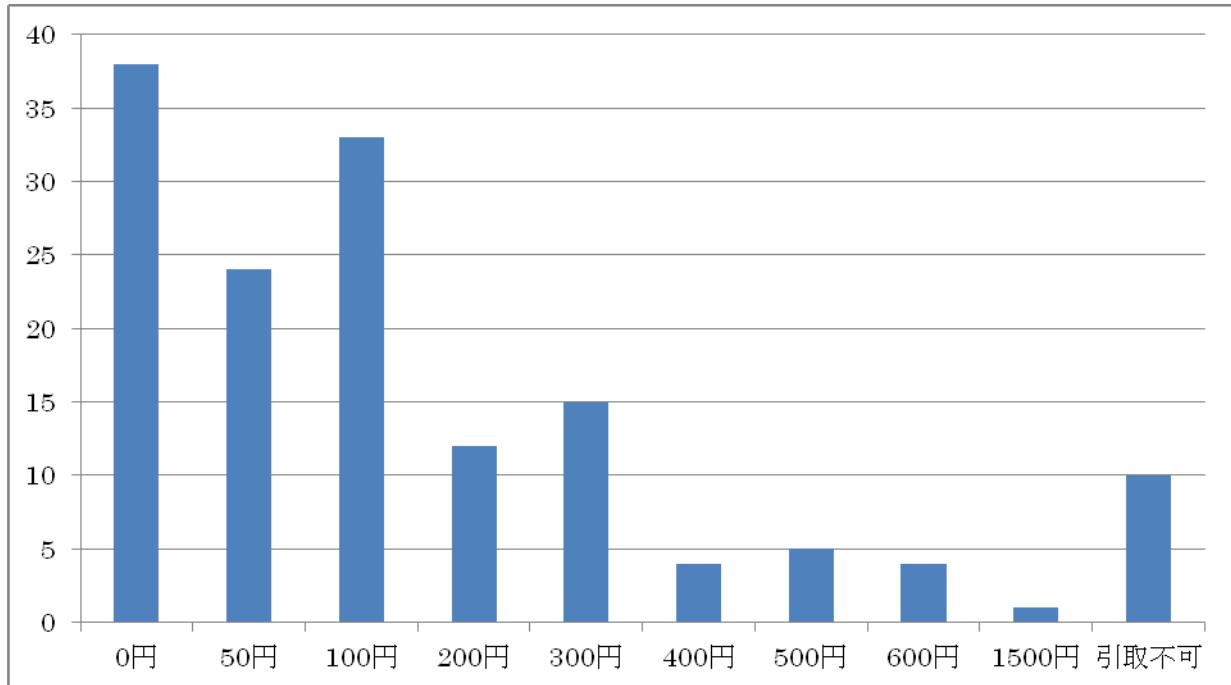


表 6. 品目別平均引取単価と引取不可率(無償引取含む) (N=145)

品目	平均引取単価(¥)	引取不可率(%)	点数
棚・引き出し等	257	17.86	28
机	233	33.33	21
ベッド	117	66.67	6
イス・ソファ	113	31.58	19
カラーBOX	80	31.82	22
テレビ台	75	0.00	6
衣料品	71	0.00	7
電化製品	45	54.55	11
収納ケース	33	66.67	6
その他	55	42.11	19

2.3 リユース市の内容 ※取り組み終了後報告

(分析内容)

- ・参加者数
- ・引き取られた品数
- ・リユース率(引き取られた品数/総数×100)
- ・引き取られた品数の重量(処理した場合の費用を計算する)
- ・査定結果との相関(引き取り状況)
- ・残余品処分費
- ・当日アンケート結果(今後扱ってほしい品物、今後取り組みを希望するか等)

2.4 リユース冊子について

リユース市の開催と並行して、八王子市周辺のリユースショップを紹介し、市民にリユースショップの利用を促すリユース冊子を佐々木創ゼミの学生と共同で作成した(10,000部)。

リユース冊子には、日本リユース業協会に紹介して頂いた会員企業 24 店舗を掲載し、あわせて地域のリユースショップ紹介のために別紙として「八王子市リユースショップ店舗一覧表」も作成した。(「八王子市エコショップ認定店¹」から 6 店舗を掲載している。)

リユース冊子は、下記のとおりイベントでの啓発や市民課窓口等での転出入の対応時、市清掃工場への一般持込みの受付の際などに活用している。

また、アンケート結果からリユースショップの利用等について効果的に啓発を行うことができたと思われる。

表 7. リユース冊子活用状況

内容	部数
市施設窓口等	1,250
イベント	160
他大学への配布	2,000

図 4. 市内にリユースショップがあることを知っていたか? (N=160)

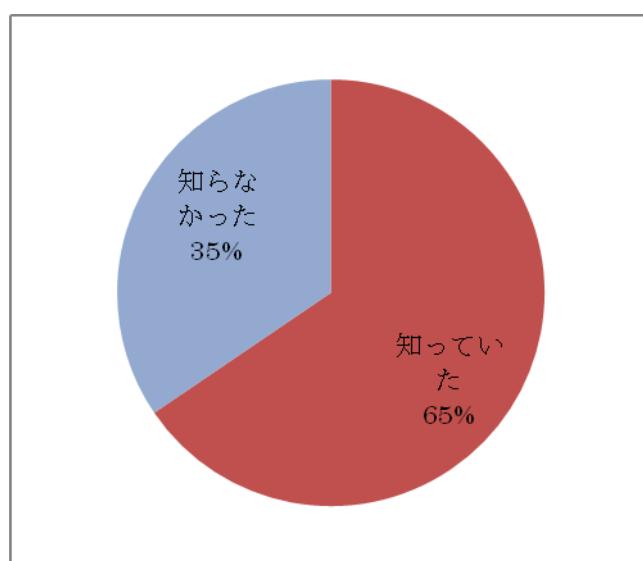
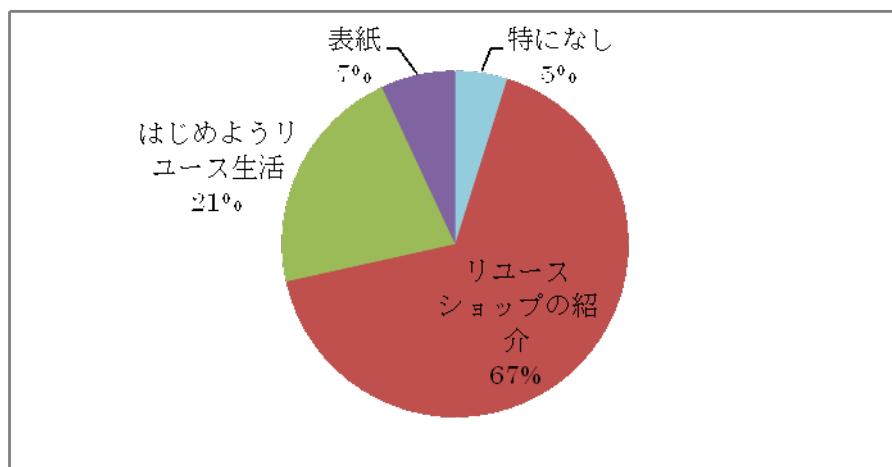


図 5. リユース冊子の中で一番役に立ったページはどれか? (N=160)



¹ <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/5797/5965/index.html>

3. モデル事業の事業採算性について

リユース市の開催に要した経費は概算で 154,304 円であった。

また、リユース市と並行して作成した冊子の作成費用は 478,440 円であった。

表 8. リユース市開催経費

支出合計	¥154,304		
広報宣伝費	¥28,016	リユース市広報チラシ	¥28,016
イベント運営費	¥126,288	イベント景品代(エコバッグ 200 枚、エコメモノート 300 冊)	¥80,568
		PR 用のぼり・立看板等製作費(のぼり旗 5 個、立看板 1 枚)	¥45,720
		配達費(配達委託、キャリーカート)	未定
歳入合計	未定		
リユース品売却益	未定		未定
配達手数料収入	未定		未定
募金	未定		未定

表 9. リユース冊子作成経費

支出合計	¥478,440	リユースショップ紹介冊子作成費(10,000 部)
------	----------	---------------------------

4. モデル事業の成果

4.1 ごみの減量効果

- ごみとして廃棄される可能性の高かった物品をリユース品として回収し、再使用を促すことができた。

4.2 市民への啓発

- 学園都市である八王子市の課題であった学生に対するごみ減量・リサイクルの啓発について、リユース市を通じて多くの学生に実施することができた。
- リユース冊子を通じて、市民に対してリユースという概念を啓発するとともに、リユースショップの紹介による具体的なリユースの方法を案内することができた。

4.3 協働の実現

- 大学と協働し、学生が卒業に伴って不用になる家具等の再使用のしくみづくりを実施することができた。また、このような取り組みを継続していくために解決すべき課題を整理することができた。
- リユースショップと協働し、リユース品の査定やリユースショップの紹介などの連携を行うことができた。また、今後取り組みを実施していくための関係構築ができた。

5. 課題等

5.1 運営

(1) 収集

今回は行政の支援により収集を行ったが、学生が主体となって収集を行う場合、回収用の車両を用意する必要がある。しかし、大学によっては保険等の点から授業内での車両使用を制限している場合もあるため、今後は事前の受付や点検などを学生が行い、収集については民間事業者が行うなどの連携方法も検討していく必要がある。

(2) 配送

引き取り手である新入生に適切な費用負担を課すと、リユース品を無料で提供しても配送費用により、新品を購入した場合の価格と差がなくなってしまう場合がある。回収物品のリユースを促進するためには、配送費についても自前で車両を用意するか民間事業者と連携を図るなどして負担を減らす方法を検討しなくてはならない。

(3) 保管場所確保

今回は回収物品をイベント当日まで保管しておくために大学内の教室等 3 部屋を使用した。イベント開催場所までリユース品の大幅な移動が必要であった昨年度よりは改善されたものの、145 品の品物を効率的に保管するには大学内で頻繁に移動を行う必要があった。移動にはマンパワーが必要なため、今後取り組みを続けるにあたっては開催場所と保管場所を兼ねることのできるような広いスペースが理想である。そのような場所を確保するためには、大学側に取り組みを理解してもらい、早期から保管場所を確保することが必要である。

5.2 組織

今回のリユース市は佐々木創ゼミの学生のうち 2 年生 4 名が主体となって実施した(昨年度は約 11 名)。実施当初からマンパワー不足が懸念されており、ボランティア募集なども行ったが人員確保には至らなかった。年度ごとに人員が流動的なゼミを主体とする場合、ボランティアの募集方法や運営の役割分担(企画と実行を分けるなど)を検討し、人員確保の方法を検討しなくてはならない。

5.3 費用

上記の収集や配送、また残余品の処分や広報等に係る費用をどのように捻出するかも検討しなくてはならない。

※リユース市終了後には、効率的な運営のために周知方法や回収対象とするべき品目などについても検討を行っていきたい。

6. 今後の取り組み方針

- ・上記の課題等を踏まえ、今後取り組みをどのような形で継続していくか大学側と調整を行っていく。
- ・今回の課題等を整理し、他大学や他の事業者との協働による実施も検討していきたい。
- ・市民に対しては引き続き、広くリユースの啓発を行っていく。

回収物品点検表

この商品は、平成_____年_____月_____日に、_____が点検いたしました。

- 製造事業者などによる自主回収品又は法律に基づく回収命令品でないか(リコール品ではないか)。
- 外観検査を行ったか。
- 変形(著しいキズ、破損等)がないか。
 - 汚れがひどくないか。
- 正常作動検査を行ったか。
- 本来の正しい使い方通り、使用することができるか。
- 通電検査を行ったか。 (電化製品のみ記入)
- 定格電圧をかけることで、当該製品が正常に作動するか。
- 表面のほこり、汚れをとるなどの適切な清掃をしたか。
- 電気用品に関して、PSE マークがついているか。



何年前に購入したか。 _____年

- 製造年から 5 年以内であるか。

新品であるか、リユース品であるか。(新品 · リユース品)

取り扱い説明書は添付されているか。 有・無

保証書は添付されているか。 有・無

全ての付属品を添付しているか。 有・無

不足品あり (不足品 : _____)

中央大学 FLP 環境プログラム 佐々木創ゼミ
平成 25 年 11 月 13 日作成

環境省
不要になった家具、新入生に譲りませんか？

完全無料で引き取ります！

**環境省モデル事業
八王子市とタイアップしています！**

リユース市とは？

「卒業生の不用品を新入生の必需品に」を合言葉に、1人暮らしをしている中大生が、まだ使えるけれど不要になった生活用品を中大生に引き渡すイベントです。

昨年はFLP環境プログラム佐々木ゼミが八王子市と連携し、3月下旬～4月上旬に開催し、42品目を引き渡しました。今年度は環境省モデル事業に採択され、さらに規模を拡大して実施します。

**2月18日(水)・28日(土)
3月3日(火)・6日(金)・9日(月)・15日(日)・18日(水)・22日(日)**

に回収予定です。ご自宅まで引き取りに伺います。

対象地域：八王子市・日野市・多摩市内のC's、
八王子市内の東中野・堀之内・大塚地域。

取り扱い物品：棚、机・テーブル、テレビ台、収納ケース、CD・DVD、ゲーム、カラーボックス、楽器、スタンドミラー、イス・ソファー、衣類、小型家電（調理・暖房器具を除く）

※場合によっては扱えない物品がありますので、下記の連絡先に相談してください。

《連絡先》

QRコードでCHECK!→

詳細は「中央大学 リユース市」で検索
<http://reuseproject-chuo.jimdo.com/>

Twitterアカウント：
中央大学リユース市@chuo_reuse1
☆随时更新中！
ご気軽にフォローしてください☆
Mail : chuo_reuse1@yahoo.co.jp

主催：中央大学(実施主体:FLP環境プログラム佐々木ゼミ)、八王子市
協力：環境省

学生ボランティア募集!!
詳しくは、左記メールアドレス又はTwitterにご相談ください！

リユース市とは？

昨年度からFLPの佐々木ゼミで開催をはじめ、今年は環境省のモデル事業に採択されました。八王子市、日野市、多摩市で一人暮らしをしている中大生がまだ使えるにもかかわらず不要になった生活用品を新入生と在校生に受け渡すイベントです。今年は、3月の下旬から、4月の上旬にかけて開催予定です。

中央大学 CHUO UNIVERSITY
八王子市
環境省

不要になった生活用品 私たちが引き取ります

物品が持ち込み可能に

前回は、3月に物品をご自宅まで引き取りに伺っていましたが、それに加え物品の持ち込みの受付を行います。

日時：1月28日と1月の登校日
毎週月曜日と木曜日の昼休み

場所：6号館7号館間のペデ下(学生課、厚生課上の屋内)
衣類や書籍など手軽に持ち運びできるものを提供したいとお考えの方は、ぜひお気軽にお越しください！

回収予定日

回収希望の方のご自宅まで引き取りに伺います。ご希望の方は、下記のホームページにアクセスしてください。

回収予定日：1月29日 16時から
2月 上旬 1回下旬 2回 3月 複数回

主な対象地域：八王子市・日野市・多摩市内のC's、
八王子市内の東中野・堀之内・大塚地域

* 2月・3月の時間は未定です
またその他の日にち、地域はゼミ生にお尋ねください

取扱い物品

衣類、書籍、小型家電（調理器具、暖房器具を除く）、棚、机、収納ケース、カラーボックス、スタンドミラー、椅子など

*場合によって扱えない物品がありますので、ゼミ生にご相談ください

詳しく述べ 「中央大学 リユース市」で検索
<http://reuseproject-chuo.jimdo.com/>

Twitter : 中央大学リユース市 @chuo_reuse1
Mail : chuo_reuse1@yahoo.co.jp QRコードでCHECK!→

八王子市連絡先：八王子市 資源循環部 ごみ総合相談センター
TEL : 042-696-5353 (直通)

主催：中央大学(実施主体:FLP環境プログラム佐々木ゼミ)・八王子市 協力：環境省

II. 神奈川県逗子市

1. 実施するリユースモデル事業の概要

1.1 プランの概要

市役所1階市民ホールで開設している不用品交換スペース「エコ広場」をモデルとして、市内3地域において出張エコ広場をサテライト会場としてイベント的に開設し、今後の常設または定期的な開催の可能性を検討する。

また、リユースシンポジウム「捨てる！技術、自分らしい生き方」を開催するとともに、市内のリユースショップ等を紹介したパンフレットを作成・配布し、市民に対するリユースの普及啓発を行う。

この事業の推進により、市民団体やリユース業者との連携を図ることにより、市民のリユース気運を高める。

(1) 対象品目

図表1は出張エコ広場の対象品と除外品である。

図表1 出張エコ広場の対象品と除外品

分類	対象品
対象品	陶器・ガラス器、台所道具、日用雑貨、人形・おもちゃ、洋服・靴 (洗濯済の新しいもの)、服飾品・バッグ、小型家電(30cmくらいまで)、書籍・絵本、CD・DVD
除外品	キー・ゴルフ用品、家具、大型家電、食品、 カビ・汚れ・壊れのあるもの

(2) 取組の概要

出張エコ広場は、12月12日（金）、13日（土）に市の体験学習施設「スマイル」、1月23日（金）、24日（土）に西友逗子ハイランド店前、2月20日（金）、21日（土）に久木会館の市内3地域において実施する。

各会場で不用品の持ち込みと持ち帰りによる無料交換を2日間実施し、持ち込みをした参加者に対しては逗子の地域通貨「Zen（ぜん）」と交換できるエコポイント1ポイントを発行する。

（10ポイントで1Zen（100円相当）と交換可能）展示する不用品は当日受付のほか、市役所のエコ広場へ提供された不用品の一部を展示する。

イベント当日の持ち込み量及び持ち帰り量は、会場内に設置した受付で品目ごとに計量し、ごみの削減量を計測する。また、来場者にアンケートへの協力を依頼して、イベントに対する感想や今後の利用について把握する。

イベント後に余った不用品については、市役所1階市民ホールにて開設しているエコ広場に持ち帰り、展示を行う。

(3) 役割分担

逗子市はイベント全体の進捗・実行管理と、地域の自治会・町内会への広報活動に対するバックアップを行う。市民団体である「逗子ゼロ・ウェイストの会」はチラシを作成し、広報活動を担う。また、イベント当日の運営作業を行うとともに、地域毎のイベントをサポートする地元ボランティアの募集・教育に努める。

1.2 広報・PR の方法

「広報ずし」での案内のほか、会場ごとの開催周知チラシを作成し、市内広報板への掲示及び自治会・町内会での掲示板への掲示・回覧、会場周辺の地域へ戸別ポスティングを実施する。シンポジウムのチラシ・リユースパンフレットは、「広報ずし」とともに全戸配布する。その他の媒体としてタウンニュースを活用する。

また、リユースモデル事業のキャッチフレーズとして、「いいね！リユース」を共通ロゴとして出張エコ広場やシンポジウムなどのイベントチラシだけでなく、宣伝用のノボリにも使用し、イベント会場で「リユース」への関心を高める。

図表 1 「いいね！リユース」 のぼり旗



2. モデル事業の利用状況・効果について

2.1 出張エコ広場の開催

(1) 来場者数、持ち込み・持ち帰り量の実績

来場者数、持ち込み及び持ち帰りの件数・重量の実績を以下に記す。

来場者の属性は、第1回の体験学習施設「スマイル」では子育て世代が、第2回のスーパー・マーケット「西友逗子ハイランド店」に隣接するスペースでは主婦層等が、第3回の地域活動センター「久木会館」では高齢者等周辺の住民の参加が多かった。

開催案内チラシを作成し、開催する地域での回覧や自治会等の掲示板への掲示、ボランティアによる各戸配布を行った。さらに、第3回（久木会館）開催では久木小学校の生徒へ配布した。イベント終了後に余った品物については、大部分を市役所のエコ広場で展示し、一部を市内のリユースショップへ持ち込んだ。

図表 2 出張エコ広場の利用状況実績

	来場者数	持ち込み		持ち帰り	
		件数	重量(kg)	件数	重量(kg)
第1回	437	83	175	189	108
第2回	593	144	364	111	155
第3回	188	99	273	185	170



第1回出張エコ広場 体験学習施設 スマイルの様子



第2回出張エコ広場 西友逗子ハイランド店前の様子



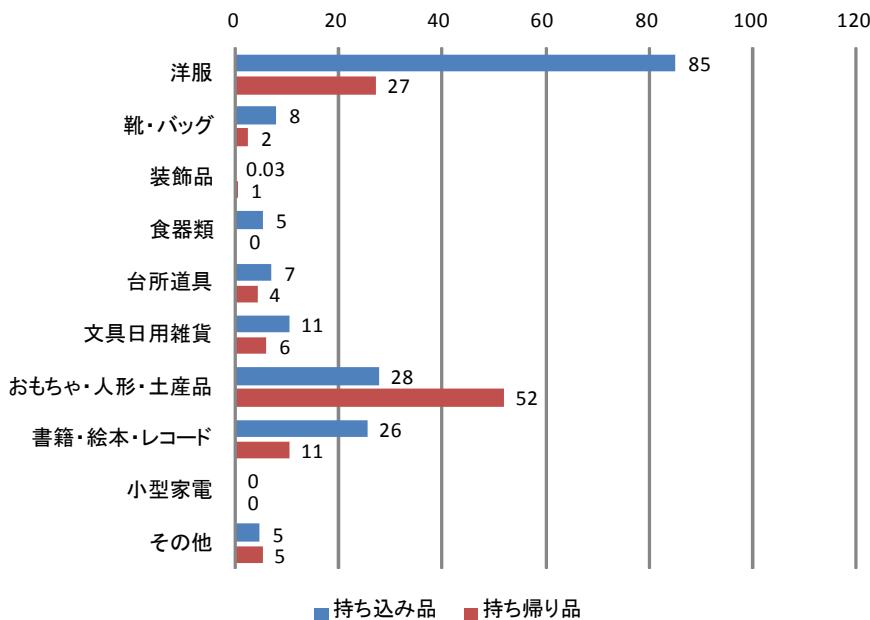
第3回出張エコ広場 久木会館の様子

(2) 持ち込み品・持ち帰り品の傾向

図表4・5・6は、出張エコ広場での持ち込み、持ち帰り量の実績である。出張エコ広場の開催場所によって参加者の属性に違いがあり、持ち込み、持ち帰りされる資源物の種類にも違いが表れた結果となった。

第1回は子連れの参加者が多かったため、洋服、おもちゃ・人形等の持ち込み、持ち帰り量が多かった。

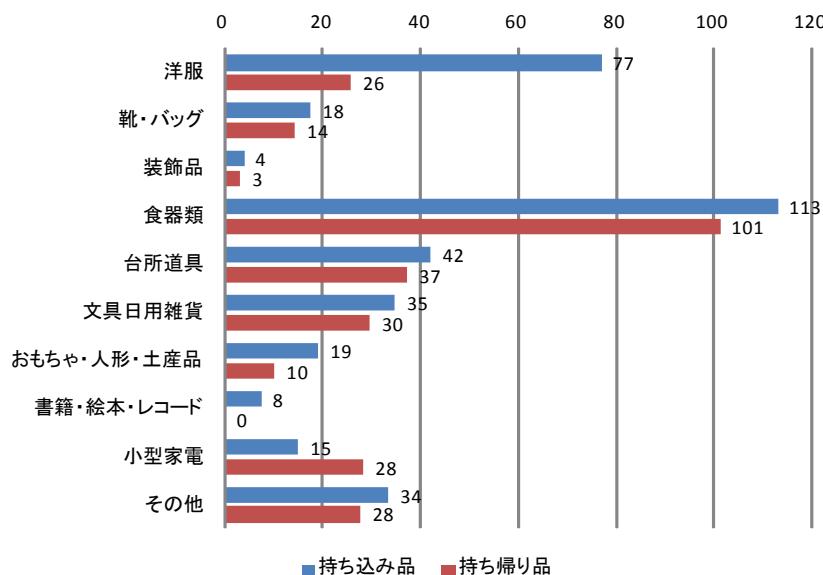
図表3 出張エコ広場第1回の持ち込み・持ち帰りの量(kg)



*「おもちゃ・人形・土産品」の持ち帰り量が持ち込み量を大きく上回っている理由は、第1回会場では子連れの参加者が予想されたことから市役所のエコ広場から子ども向けのおもちゃを持ち込んで展示したためである。

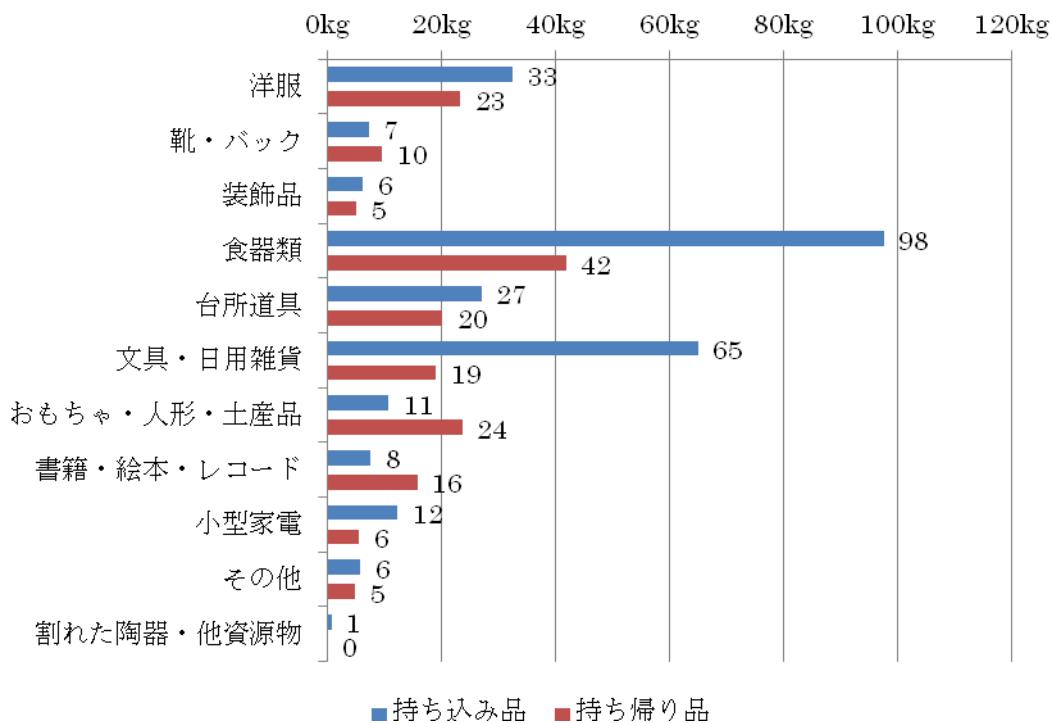
第2回は、スーパー・マーケットに隣接していたため、主婦層等買い物客の参加が多く、洋服、食器、台所道具、日用雑貨の持ち込み、持ち帰り量が多かった。また、一日目に来店して開催を知り二日目の持ち込みに至ったケースが多く見られた。

図表4 出張エコ広場第2回の持ち込み・持ち帰りの量(kg)



第3回は、地域活動センター「久木会館」での開催であったため、来場者は他に比べて少なかったが、自治会での回覧などの周知が行き渡り「持ち込み」「持ち帰り」の量はともに多かった。食器類や台所道具・洋服の持ち込みが多く、食器類の持ち帰りが多かった。文具・日用雑貨の持ち込みもかなりの数量に上っている

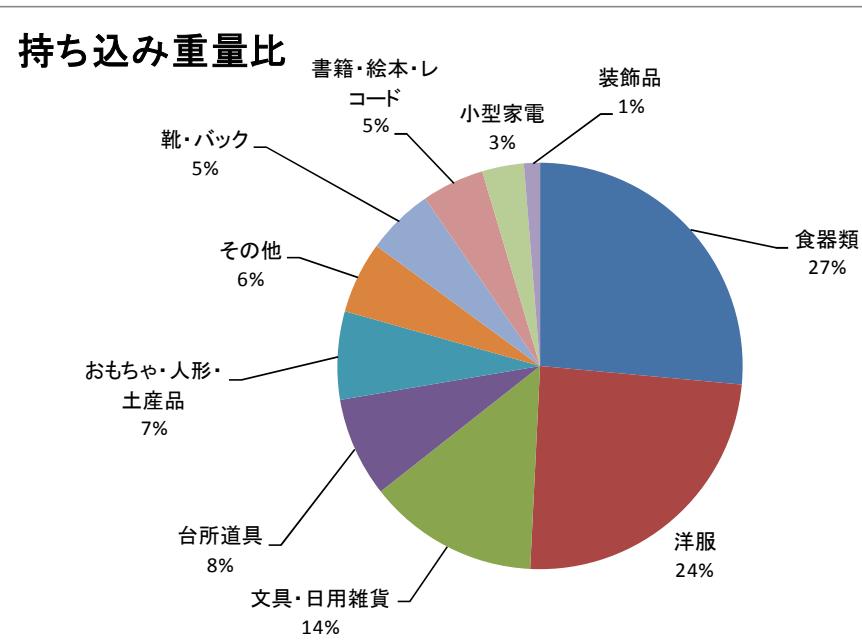
図表5出張エコ広場第3回の持ち込み・持ち帰りの量(kg)



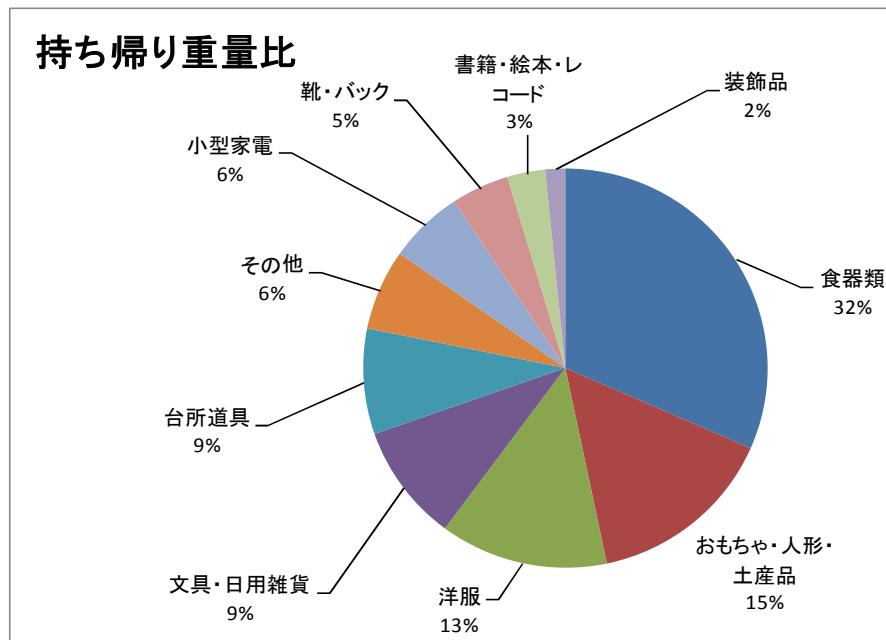
トータルの重量比として、持ち込み・持ち帰りの最も多いのは食器類であった。

逗子は、高齢者家庭が多く、家族人数の減少などにより使用されなくなった食器類や台所道具陶器などの持ち込みが多く見られるが、持帰りもまた一番多かった。若い世代へのリユースの道筋ができたと思われる。洋服類の持帰りは、持ち込みの比率よりかなり低い。デザインの古いものがリユースされにくくことが分かる。おもちゃ・土産品などについては、持帰りが多く、リユースされる傾向が見られた。

図表6出張エコ広場3会場の持ち込み品目の合計量比率(%)



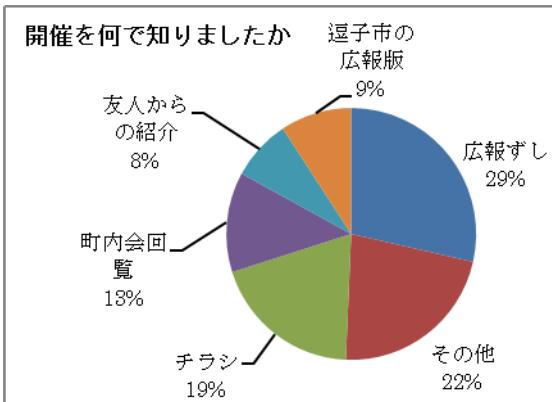
図表7 出張エコ広場3会場の持ち帰り品目の合計量比率(%)



(3) 参加者アンケート結果（回答者数 259 名）

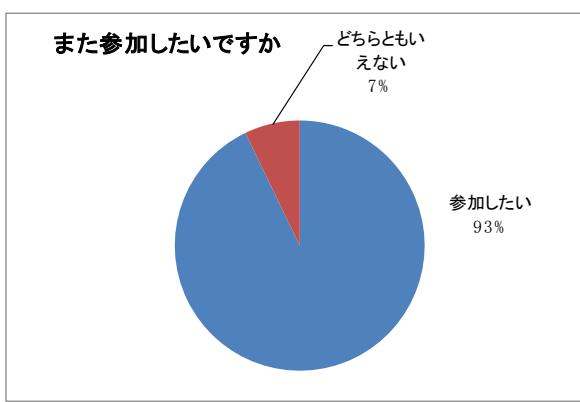
出張広場（3会場）についての来場者アンケートの結果整理を以下に整理する。

1) 開催を何で知りましたか？



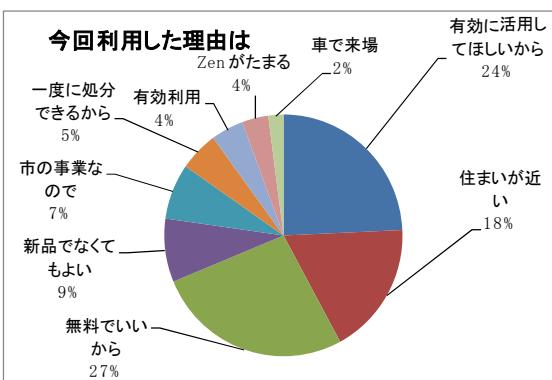
*きめ細かな広報手段に反応している。

2) また参加したいですか？



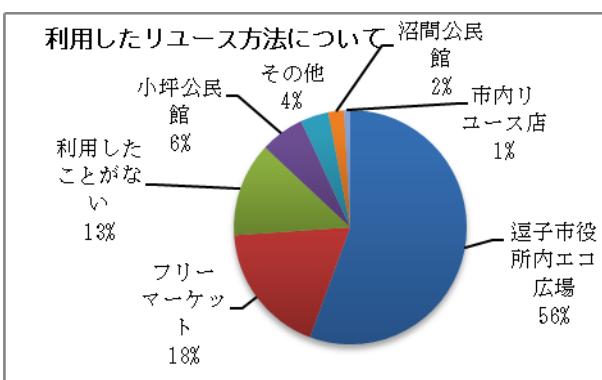
*大いに好感を得ている。

3) 今回利用した理由は何ですか？



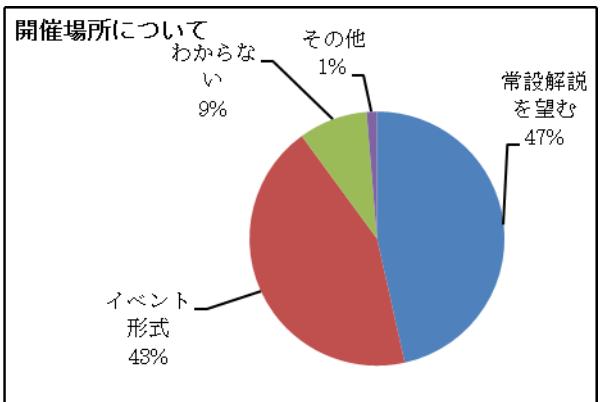
*住まいが近い。「出張」の効果が見られる。

4) リユースはどこを利用していますか？



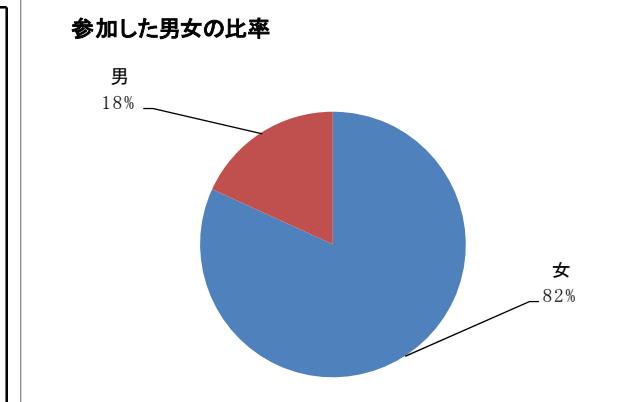
*利用をしたことがないに注目したい。

5) 「エコ広場ずし」常設開催について



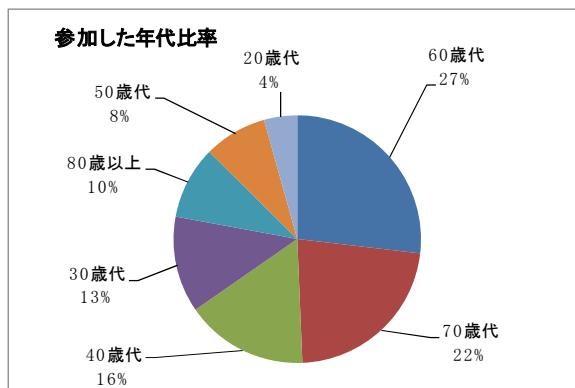
*何らかの方式での開催が望まれている

6) 参加者の男女の比率



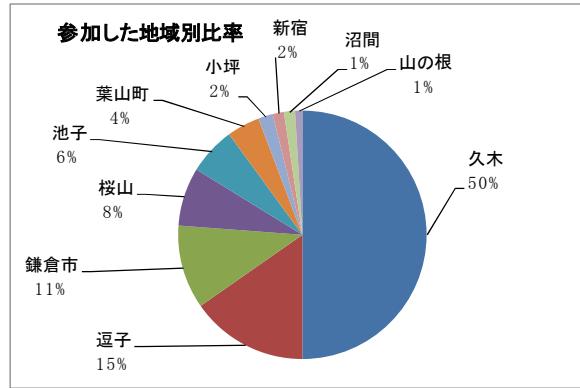
*男性の参加も多い。

7) 参加者の年代比率



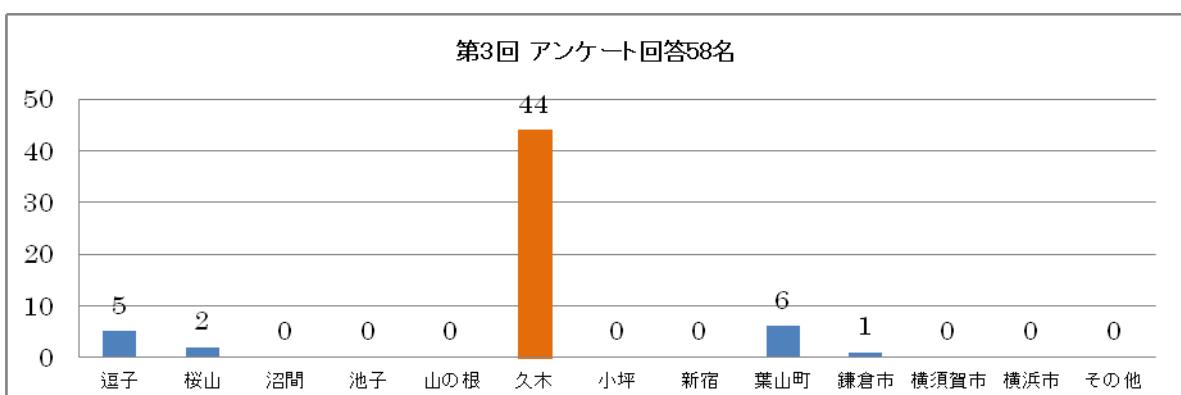
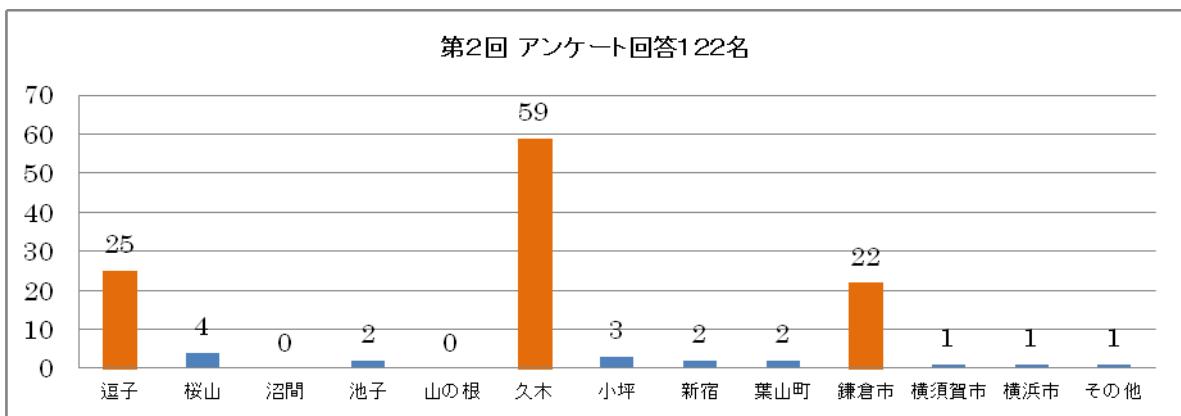
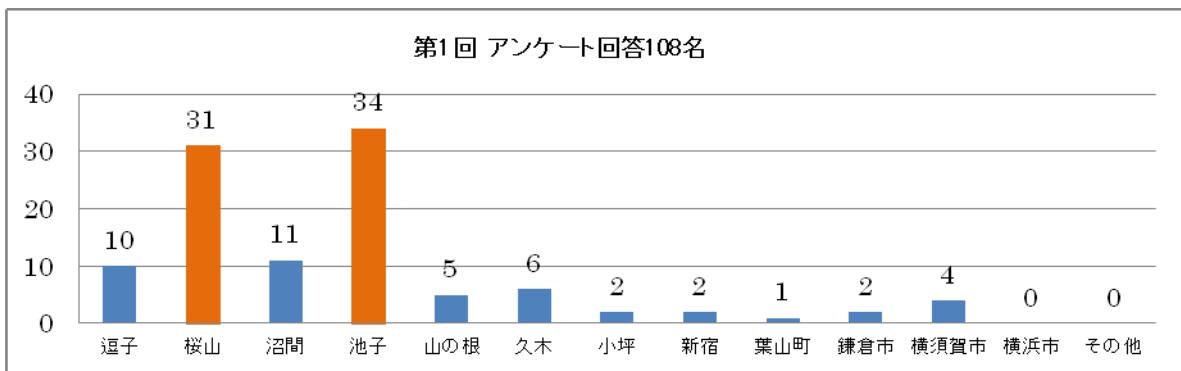
*半数以上が50歳以上。

8) 参加者の住居地域別人数（全体）



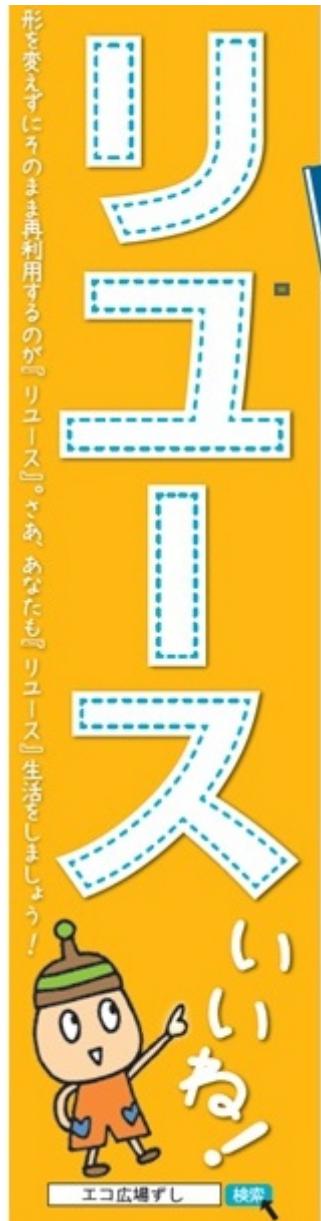
*久木の参加者が多いのは、久木地域で2回開催されたことによる。

9) 参加者の住居地域別人数（開催地別）



自由記述の意見・要望など

- ・ とてもいい取り組みだと思うので続けてほしい。出張はとてもうれしい。近場で気軽に来られる。
- ・ 住居の近くが良い、足が悪いので出張エコ広場は大助かり。
- ・ 古いものを有効に使え合えるのが良いと思う
- ・ 子ども服など、孫の物は助かっている
- ・ 市役所だけでなく、いろいろな場所で開催されると嬉しい。
- ・ 大きい物・重い物を市役所まで持つて行くのが大変。地域で開催してほしい。
- ・ 子供が学校から案内を貰って知った
- ・ 運営される方は大変だと思うが、ぜひ定期的に開催してほしい。



小さいお子さん向けのおもちゃや服、
お母さん向けのおしゃれな服も無料。
みんなで広げようリユース！

**出張
エコ広場
@スマイル
12/12(金) 12/13(土)**

10:00-16:00

第一運動公園内 池子ほっとスペース付近道広場
体験学習施設スマイル



スマイルに来ます。
『もったいない市』が
好評のエコ広場
市役所内で

エコ広場『もったいない市』は、逗子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の延命のために始めたリユースの取り組みです。今年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース・リサイクルとして活用されました。



環境省 リユースモデル事業

主催：逗子市（資源循環課 046-873-1111）
逗子ゼロ・ウェイストの会（松本 090-6488-0708）

エコ広場 もったいない市

使うものを捨てないで、必要な人のもとへ

ご家庭の『まだ使えるもの』をお持ちいただき、欲しい人が『無料で自由に』持ち帰る市です。

受付可能なもの	受付不可能なもの
陶器・ガラス器 鍋など台所道具 日用雑貨 土産・人形・おもちゃ 洋服・靴 アクセサリー 小型家電 書籍・絵本	スキーゴルフ用品 家具 大型家電 食品

持ってきていただくものは、
自分で使えるようなもの。
かび、汚れ、壊れのないもの。

ポイントがつきます！
持ってきていただいた方にはエコポイントを差し上げます。10エコポイントで1Zenと交換できます。各公民館もエコポイントカードは共通です。

資源回収コーナーもあります。

割れた陶器、ガラス器、使えない家庭金属、割り箸、アルミ付き牛乳パックを回収します。お持ちください！

逗子市役所1階市民ホールに開設（平日10:00～16:00、市役所開庁時）している他、出張もしています。

出張『エコ広場』スケジュール



沼間公民館
12/5(金)・12/6(土)
1/9(金)・1/10(土)
10:00～16:00
原則第1金曜・土曜



小坪公民館
12/19(金)・12/20(土)
1/30(金)・1/31(土)
10:00～16:00
原則最終金曜・土曜

西友逗子ハイランド店前
2015年1/23(金)1/24(土)10:00～16:00
NEW

いいね！リユースシンポジウム

2015年1月18日(日)9:30～11:30

『スッキリ暮らす！素敵な生き方』

辰巳渚さん 講演会

家事塾 主宰。2000年刊行した「捨てる技術」で消費社会の象徴である「物」に対する新しい哲学を提唱し、同書は130万部のベストセラーになる。



会場：逗子文化プラザさざなみホール
＊詳細は広報ずし1月号と一緒に
折り込まれるチラシをご覧ください。

形を変えずにそのまま再利用するのが『リユース』。さあ、あなたも『リユース』生活をしましょう！

出張エコ広場 @SEIYU
1/23(金) 1/24(土)
10:00-16:00
西友逗子ハイランド店前

2015年10月より燃やさごみ・不燃ごみが有料になります。ご家庭で不用なものを、必要な人に使ってもらうエコ広場『もったいない市』をご利用ください。

エコ広場『もったいない市』は、逗子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の命延のために始まったリユースの取り組みです。今年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張版と合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース・リサイクルとして活用されました。

環境省リユースモデル事業
主催：逗子市（資源循環課 046-873-1111）
逗子ゼロ・ウェイストの会（松本 090-6488-0708）

エコ広場すし 検索

エコ広場 もったいない市

使えるものを捨てないで、必要な人のものへ

ご家庭の『まだ使えるもの』をお持ちいただき、欲しい人が『無料で自由に』持ち帰る市です。

受付可能なもの

- 陶器・ガラス器
- 鍋など台所道具
- 日用雑貨
- 土産・人形・おもちゃ
- 洋服・靴
- 服飾・バッグ
- 小型家電
- 書籍・絵本

受付不可能なもの

- スキー・ゴルフ用品
- 家具
- 大型家電
- 食品

持ってきていただくものは、自分で使えるようなもの。かび、汚れ、壊れのないもの。

ポイントがつきます！

持ってきていただいた方にはエコポイントを差し上げます。10エコポイントで1Zenと交換できます。エコポイントカードは共通です。

資源回収コーナーもあります。

割れた陶器、ガラス器、使えない家庭金物、割り箸、アルミ付き牛乳パックを回収します。お持ちください！

ひな人形・五月人形リユースフェア
1/28(水)～1/30(金) 10:00～16:00

ひな人形、五月人形を必要な方に譲ります。期間中に持ち込み飾っていただけます。

持参できない方は、写真可。

会場：逗子市役所1階市民ホール
申し込み・お問い合わせ：
逗子ゼロ・ウェイストの会（松本 090-6488-0708）

いいね！リユースシンポジウム
2015年1月18日(日) 9:30～11:30
『スッキリ暮らす！素敵な生き方』
辰巳渚さん講演会

家事塾 主宰。2000年刊行した『捨てる技術』で消費社会の象徴である『物』に対する新しい哲學を提唱し、同書は130万部のベストセラーになる。

会場：逗子文化プラザさざなみホール
*詳細は広報すし1月号と一緒に折り込まれたチラシをご覧ください。



10月より燃やすごみ・不燃ごみが有料になります。ご家庭で不用なものを、必要な人に使ってもらいうエコ広場『もったいない市』。シニアの方もお子さまも、ぜひご家族でおでかけください。

**出張
エコ広場 @久木会館***

2/20・2/21

**10:00-16:00 —
久木会館内オープンスペース**



エコ広場「もったいない市」は、逗子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の延命のために始まったリユースの取り組みです。昨年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張版と合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース・リサイクルとして活用されました。



環境省リユースモデル事業

主催：逗子市（資源循環課 046-873-1111）
逗子ゼロ・ウェイストの会（松本 090-6488-0708）

エコ広場 もったいない市

使えるものを捨てないで、必要な人のもとへ

ご家庭の『まだ使えるもの』をお持ちいただき、欲しい人が『無料で自由に』持ち帰る市です。

受付可能なもの



受付不可能なもの



ポイントがつきます！

持ってきていただいた方にはエコポイントを差し上げます。10 エコポイントで 1 Zen と交換できます。エコポイントカードは共通です。

資源回収コーナーもあります。

割れた陶器、ガラス器、使えない家庭金物、割り箸、アルミ付き牛乳パックを回収します。お持ちください！

逗子市役所1階市民ホールに開設（平日10:00～16:00、市役所開庁時）している他、出張開催もしています。

**第3回「エコ広場すし」まつり
3/21(土祝) 10:00-16:00**

キモノユースフェア
亀岡八幡宮社務所 10:00～13:00
素材として使う方歓迎

ダンボールコンボスト
バケテリアdeキエア
逗子市役所1階ホール

**生ごみ処理機器
展示・相談**

**楽しいエコ
ワークショップ**
古布を使った小物作りや新聞やカレンダーからエコバッグ作りなど

修理・修繕コーナー
小型家電修理相談、包丁研ぎ、おもちゃ、傘直しなど、直したいもの持参ください。

エコ講演会
開催時間は午後となります。
講師未定・参加無料

問い合わせ
（松本 090-6488-0708）マキシマーズ

協賛
協賛を入れてミックスペーパーをご持参いただくと、再生トイレットペーパーをプレゼント！

2.2 リユースシンポジウムの開催

(1) 開催結果

1月18日（日）に逗子市文化プラザさざなみホールでリユースシンポジウム「捨てる！技術、自分らしい生き方」を開催し、約130名が参加した。

平井竜一逗子市長の挨拶の後、第1部では、「いいね！リユース 逗子のまちから」と題して、逗子市内のリユース事情が紹介された。続いて第2部では、辰巳 渚氏から「スッキリ暮らす！素敵な生き方」と題し、大量消費社会における「もの」との上手な付き合い方と、生活にリユースを取り入れる「コツ」についての講演と質疑応答があった。第3部では、市長・辰巳氏・報告者及び聴衆を交えた意見交換が活発に行われ「逗子のリユースショップについて知る事ができた」「今後エコ広場を使ってみたい」等の意見が述べられた。また、リユースパンフレットに掲載されたリユース店（2店）やリユース関連団体（日本リユース機構）の参加、発言もあり、最後に満員の来場者全員により「いいね！リユース」の宣言が力強く行われ、逗子市におけるリユースの機運が高まった。

会場には、逗子市内で営業しているリユース業者の紹介パネルなどの展示コーナーを設け、来場した市民へのアピール効果があった。

図表 9 逗子リユースシンポジウムのプログラム

内容	
第1部	モデル事業報告「いいね！リユース 逗子のまちから」 ・リユースマップ作成のインタビューから見えてきたこと 進藤和子（リユースマップ編集チーム） ・ママはリユース上手 村上朝鼓（はっぽの広場） ・エコ広場ずしから「地域」エコ広場へ 松本真知子（逗子ゼロ・ウェイストの会）
第2部	講演「スッキリ暮らす！素敵な生き方」 講師：辰巳渚 氏（生活哲学家 家事塾主宰 「『捨てる！』技術」著者）
第3部	意見交換「いいね！リユース 逗子から始めよう新しい風」



基調講演



パネルディスカッション



最後は「いいねリユース！」を宣言

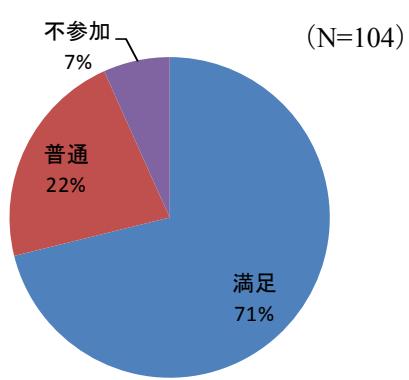


市内のリユース業者等の紹介パネル

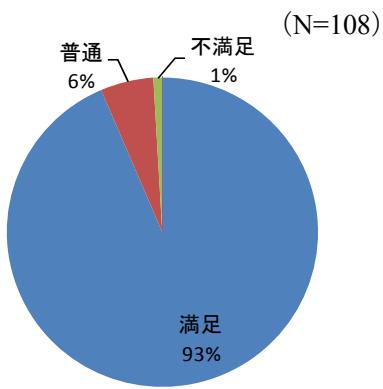
(2) シンポジウムのアンケートについて

参加者 130 名のうち、111 名からアンケートの回答を得た。シンポジウム・講演会に対しての反応は、暮らしに役立ったとの回答数が圧倒的に多く、満足度の高さがうかがわれる。比較的高い年代層の参加が多かったが、30代～50代の参加もあり、幅広い年齢層からの関心が寄せられた。

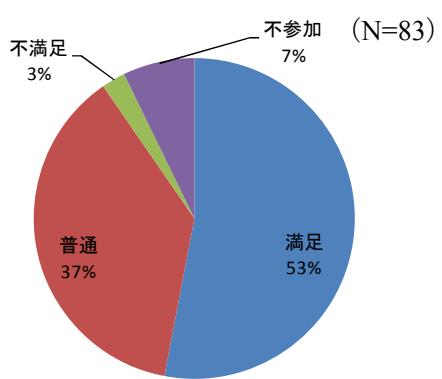
1) 第1部 モデル事業報告について



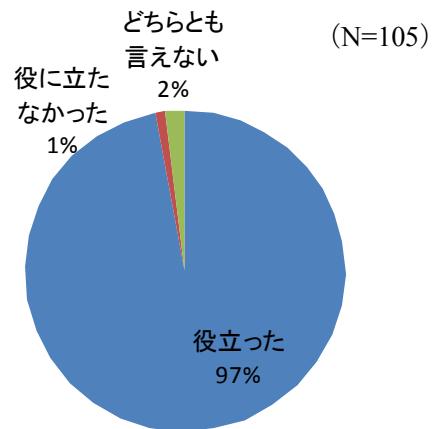
2) 第2部 辰巳渚氏の講演について



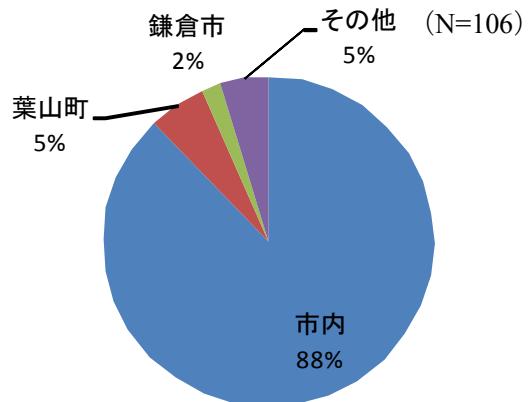
3) 第3部 意見交換について



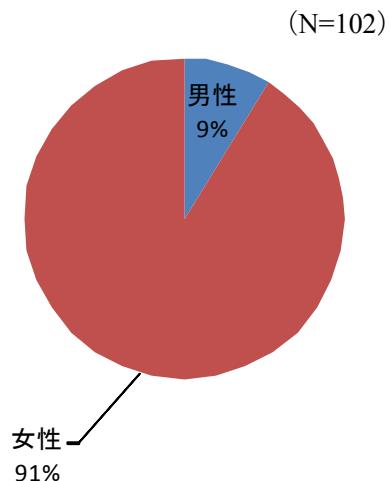
4) 暮らしに役立ちましたか？



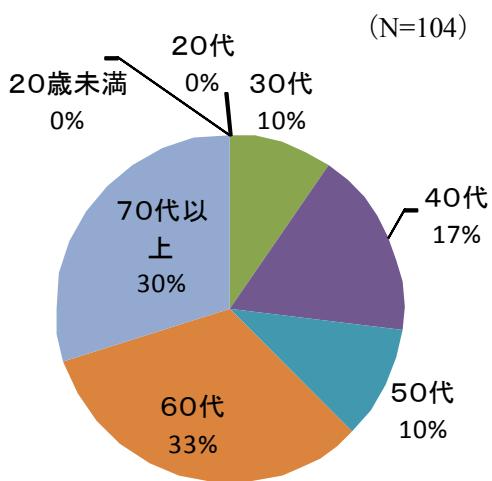
5) 参加者の住居地域



6) 参加者の男女の比率



7) 参加者の年代の比率



感想・意見などが多数寄せられ（78名）、関心の高さや満足度がうかがわれる。以下、抜粋。

- ❖ 市民の関心の高さに驚いた。行政・市民が一体となって取り組んでいくことが大切
- ❖ 始めにチラシを見た時から是非聴講したいと思っていた。早速今日から始めようと思う。
- ❖ 小型家電の回収ボックスがあることを知った。
- ❖ 逗子でのリユース店の紹介・ママの立場でのリユース・逗子市内での取り組みについて知る事が出来よかったです。
- ❖ 今後、モノとの付き合いを見直すとても良い機会となった。
- ❖ 遺品整理の事で参考になった。再度開催して欲しい。
- ❖ 小中学生へも分かりやすい方法で教育してほしい。
- ❖ リユースのパンフレットが役にたった。
- ❖ 辰巳さんのお話は、期待通りで、いろいろ考えさせられた。
- ❖ エコ広場をもっと活用してみたいと思った。



「捨てる！」技術、 自分らしい生き方

1/18

日曜日
9:30-11:30
開場 9:15

会場：逗子文化プラザさざなみホール

参加無料 定員：先着100名

*お申込み不要。直接会場にお出でください。
*手品通り・契約承認券は1か月までに返済期限までに返済して下さい。

「捨てればゴミ、分別すれば資源」とはよく言われることですね。
ではリユース（再使用）とは何でしょう。いろいろな方法を語り合い「自分らしい生き方」に活かしませんか。

Part 1 報告

「いいね！リユース 逗子のまちから」

- ①インタビューから見えてきたこと
進藤和子（リユースマップ編集チーム）
- ②ママはリユース上手
桑原恵志（ロコマネットワークス）
- ③エコ広場すくら「地域」エコ広場へ
松本真知子（逗子ゼロ・ウェイストの会代表）

環境省リユースモデル事業

主催：逗子市
(資源循環課 046-873-1111)
逗子ゼロ・ウェイストの会
(松本 090-6488-0708)

エコ広場すくら 接触



辰巳 晴さん [生活哲学家]
家庭塾主宰。2000年刊行した「捨てる！技術」(宝島社新書)で消費社会の象徴である「物」に対する新しい哲学を提唱し、同書は130万部のベストセラーになる。

Part 2 辰巳晴さん講演

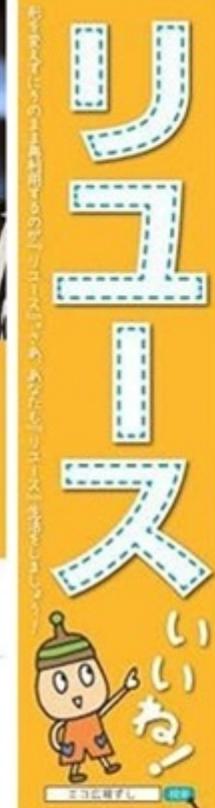
「スッキリ暮らす！ 素敵な生き方」



Part 3 意見交換

「いいね！リユース 逗子から始めよう新しい風」

*市内リユース業者等のブース・PRもあります。



ひな人形・五月人形 リユースフェア

1/28(水)～1/30(金) 10:00～16:00



ひな人形・五月人形を必要な方に譲ります。
期間中に持ち込み飾っていただきます。

持きできない方は、写真展示も可。
引き取り手が無かった場合はお持ち帰り頂きます。

会場：逗子市役所1階市民ホール
申し込み・お問い合わせ：
逗子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)

エコ広場「もったいない市」

使えるものを捨てないで、必要な人のモノへ

「もったいない市」はご家庭の「まだ使えるもの」をお持ちいただき、欲しい人が無料で自由に持ち帰る市です。

エコ広場「もったいない市」は、逗子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の延命のために始まったリユースの取り組みです。2014年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張版と合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース・リサイクルとして活用されました。

久木会館

2/20(土)・2/21(日)
10:00～16:00

スマイル

池子第一運動公園内
12/12(土)・12/13(日)
10:00～16:00

SEIYU
逗子ハイランド店前
1/23(土)・1/24(日)
10:00～16:00

小坪公民館
1/30(土)・1/31(日)
10:00～16:00
※最終金曜・土曜

エコ広場
逗子市役所
1F 市民ホール
平日10:00～16:00・市役所開設時

沼間公民館
1/9(土)・1/10(日)
10:00～16:00
※第1会場・土曜

「もったいない市」ご利用の際のルール

受付可能なもの	受付不可能なもの
荷物 カス替 台所道具 日用雑貨 人形・おもちゃ	スキー・ゴルフ用品 家具
洋服・靴 被服類 パック	小物類 書籍・本 CD・DVD 大型家电
書籍・本 CD・DVD	食品

2月から靴は新品回収のみ、市役所1階市民ホールでは衣類は新品回収のもののみ展示し、それ以外のものは、適切にリユース・リサイクルします。*子ども服は使用したものでも展示

○持ってきていただくものは、自分で使えるようなもの、かび、汚れ、壊れのないもの。

○ポイントができます！持ってきていただいた方にエコポイントを差し上げます。
10エコポイントで1Zenと交換できます。エコポイントカードは共通です。

○資源回収コーナーもあります。割れた陶器、ガラス瓶、使いない家庭全物、

割り箸、アルミ付き牛乳パックを回収します。お持ちください！

2.3 リユースパンフレットの作成

(1) リユースパンフレットの概要

市内のリユースショップを紹介するパンフレット「リユース生活のススメ」を作成するにあたり、市内のリユース事業者（14 店舗）に掲載について打診したところ、閉店状況にある店舗、掲載を希望しない店舗を除いた、9 店舗の協力が得られた。

若い世代にも読んでもらえることを意図して、親しみやすいデザインに編集し、リユース気運を高めるため出張エコ広場のノボリやちらしに使用した「リユースいいね！」のキャッチフレーズをパンフレットにも使用した。

1月 18 日のリユースシンポジウムにむけて、29,000 部発行し、「広報ずし」2月号配布とともにパンフレットを全戸配付し、掲載協力店にも配架した。

(2) リユースパンフレットの効果

リユースパンフレットに掲載された市内リユースショップに対して、リユースパンフレットの効果についてアンケートを実施した。掲載後の反響について以下に記載する。

掲載店舗からは「リユースパンフレットにより問い合わせや来店も増え、予想外の効果だった」等の意見が寄せられ、市役所 1 階市民ホールで開催している「エコ広場」との連携に対しても好意的な感触が伺われた。

また、市民からも「これによりリユースショップを知った、利用したい」、等の意見が寄せられた。今後も、このパンフレットを用いて、市内のリユースショップ及び「エコ広場」を PR し、利用者を増やしていくことが重要であると考える。

店名	利用者からの問合せ・反響
ワットマン逗子久木店	店長からは「掲載されていましたね」等の声がかけられたと聞くが、詳細は不明。
ブックオフ逗子久木店	電話での問合せが何件かあった。件数はわからないが、問合せがある事自体反響があったと思える。
カモミール	来店者がパンフレットを見て来店したかどうかは不明。
ペチコートレーン	かなりの電話問合せあり。来店数は不明。知人や顧客からパンフ掲載の報告あり。
今昔きもの 侘助	かなりの手応えを感じている。今まで紹介を介しての来店形式だったが、新規の顧客からの問合せが増え、足が遠のいていた顧客からも何件か連絡があった。自店で引取れない物はエコ広場へと薦めている。
くるくる	配布と同時に問合せの電話多数あり、その後も多い。来店者も増えたが、人数は不明。知人や顧客からもパンフ掲載について声をかけられた。
八風堂	問い合わせが 3 件あった他、反響あり。知人や顧客から声をかけられた。客層は中高生が中心であるが、来店者が増えた。掲載に感謝している。
古本イサドととら堂	反響があったかどうか分からぬ。

リユースパンフレット（表紙（左）、裏面（右））



REUSE PEOPLE

リユースで素敵が暮らしを
個性が光る
リユースびと

市役所1階にあるエコ広場。ここに見つけた洋服を素敵にコーディネイトしているひとがいます。そんなお二人のファッションをご紹介します。

吉永 淳子さん
赤を着るのは趣味だったという吉永さん。ここに見出される洋服だと今まで着たことのない色やデザインをしてみるとがでるので、楽しんでエコ広場を利用しているそうです。とても上品にまとめてお出でです。

浅田 美穂子さん
洋服だけでなく、靴も靴もすべて工芸作家でみつけたもの。民族衣装の柄やコードの色などはお気恵。誰かが使わなくなった品物を、再び使うことで命が生き直ると考えて、自分のラッキーカラーを取り入れ活用している。

**REUSE INTERIOR リユース品を
センス良く飾る**

(左) ガラスのカップ 2セット
&アイストレーパー、シェーカーを組んであります。エコ広場をママに入れチェックして、別々に手に入れたもので、手持ちのグラスでは足りなくなるホームパーティに重宝しています。

(中) フルーツ柄のファイヤーキングのカップは実家で販売していた40年ほど前のもの。
(右) ペンダント照明は家の新築で財政が困った時にエコ広場で見つけて、寄贈気づくりにも一役買っているリユースです。(Y.Aさん提供)

REUSE PUBLIC SPACE エコ広場すし

ゼロ・ウェイストを目指した市民活動事業。捨てるのがもったいないと思ったモノを持ってきていただき箱に並べる。欲しいものがあつたら自由に持って帰れる。ただし2月から、靴の受付は新品同様の物のみに変更します。衣類も新品同様のものだけ展示。それ以外のものは適切にリユース・リサイクルします。子ども服は使用した物も展示します。

●道子市役所 1F ●10:00~16:00 ■市役所地下日
●あり ●046-873-1111(横瀬循環課)
090-6488-0708(道子ゼロ・ウェイストの会 松本)

出張エコ広場もあるよ！
道子公民館：原創南月第1金・土曜日 小坪公民館：原創南月最終金・土曜日
横次地域に拡大中！

**REUSE CLOTHES リユースの
優等生
古着のゆくえ**

リユースで素敵が暮らしを
ファイバーリサイクルネットワーク「ぼろの会」

毎年、春と秋に不要になった古着を集め、回収業者に渡す機運の役目をして20年余りになります。道子の強点は人が多い。それぞれボランティアスタッフが活動しているが、不要の衣類を持ってくるとともにボランティアという考え方。燃やすゴミを減らしその分料金を使わなくて済むという視点が原点となっている。次回開催は5月の予定。
問い合わせ：045-710-6507

「ナカノ株式会社」秦野工場を訪ねて

縦横リサイクル業者「ナカノ」。秦野工場に自治体等から集まる古着は一日に約10トン！

廃棄物 %
リサイクル 約50%
回収・資源化約30%
エコス: 約20%

秦野工場での分別割合
縦糸はリサイクル率の高い繊維ということ知っていましたがファイバーリサイクルは繊維しないことでエネルギー一節約につながり、資源の保全やゴミの減量化に役立つ。
古着や空き缶は高い回収率だが、古着回収は約一割、残りは燃やすゴミとして燃却されていることになる。
古着は宝！燃やすごみとしまわずに、リユースショップなどに持っていくか、古着回収に出して有効に利用しよう。

REUSE BOOK 古本リサイクル市

当日などに持ち込まれた不用の本や回収部の余棄図書を展示。必要な本があれば自由に持ち帰ることができる。持った本は、「もので育むするプロジェクトシャンティ国際ボランティア」に寄付。

●道子文化プラザギャラリー(隣接2階) 2015年6/28-12/20
●10:00~15:00 ■あり ☎ 046-871-7708(道子ゼロ・ウェイストの会)

発行：道子市(鹿児島県 046-873-1111)
道子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)
編集：道子和子・高橋祐子 デザイン：Rooftop 発行日：2015.1.18
エコ広場すし ■ 横瀬循環課 ■ 環境省リユースモデル事業

リユースパンフレット（見開き）

活用しよう逗子のリユースショップ!

REUSE SHOP GUIDE

The map shows the following shop locations:

- 1 スーパーリサイクルショップ フットマン逗子久木店**: Located at 逗子市久木 4-13-25, 046-884-9966. Open 10:00~21:00, closed on New Year's Day.
- 2 ブックオフ 逗子久木店**: Located at 逗子市久木 4-13-25, 046-874-0400. Open 10:00~21:00, closed on New Year's Day.
- 3 リサイクルショップ カモミール**: Located at 逗子市逗子 4-3-5, 046-872-4551. Open 10:00~17:00, closed on National Foundation Day.
- 4 リサイクルショップ ペチコートトレーン**: Located at 逗子市逗子 5-4-26, 046-871-1550. Open 10:00~17:00, closed on National Foundation Day.
- 5 今昔きもの たびすけ**: Located at 逗子市新宿 4-14-1, 046-872-2294. Open 11:00~18:00, closed on Water Festival and May 11th.
- 6 道販**: Located at なぎさ通り 1-2 (near the entrance). Open 10:00~18:00, closed on New Year's Day.
- 7 リサイクルショップ くるくる**: Located at 逗子市小坪 1-1262-5, 0467-24-8913. Open 10:00~18:30, closed on Water Festival.
- 8 八風堂模型店**: Located at 逗子市久木 4-21-16, 046-872-0570. Open 11:00~19:30, closed on Water Festival.
- 9 NPO 法人りさいくる店すし 古本イサドととら堂**: Located at 逗子市逗子 4-11-39, 046-873-5929. Open 10:30~13:30, closed on National Foundation Day.

REUSE BOTTLE ビールとジュースのビンは酒屋さんへ!

飲み終わったビールやジュースの瓶は回収され、メーカーで洗浄して再使用されている。リユースされるのはビールやジュースの瓶で、正確に言えばリターナブル瓶と呼ばれる。これは返礼品にビンの保証金が含まれるので、酒屋さんへ持っていけば保証金が返却され、瓶はリユースされる仕組み。

ビールはアサヒ・キリン・サンタリー・サッポロ・オリオンで1本5円。ジュースはアサヒ・キリン・サンタリー・コカ・コーラで1本10円。瓶詰や指定メーカーでない瓶は粉砕して再資源化したり、再利用するリサイクルに回される。逗子市内の14軒の酒類販売店でリターナブル瓶を扱うが、一部扱いのないものもあるので購入時に確認を。

お持ちになっている瓶に合わせた看板が設置され、ご提案もさせていただきます。おもろい大事に使っていただきたいと思います。 店主・鶴見安也さん

鶴見さんは、逗子副都心にあります。創業 100 年前の老舗さん三井商店のお店。「うちでエコリターナブル瓶だけでなく、いろんなお酒などの瓶も引き取っています」 小糸酒類株式会社 佐藤良一さん

REUSE TABLEWARE 道子市民まつりではリユース食器が大活躍

昨年 10 月に行なわれた逗子市民まつりは 38 回目を迎え、毎年来場者も万人を超える一大イベント。ゴミは来場者がすべて持ち帰り。

飲食ブースでの使い捨てプラスティック容器を減らすために、昨年は約 1,200 枚のリユース食器が利用されました。飲食ブースでリユース食器のプロジェクト（保証金）100 円を含む料金を支払い、食器を返却すると 100 円が戻ってくる仕組み。使用済みの食器はまとめて容器貸出業者に返却し、そこで洗浄して再利用される。来年はもっと利活用感が高まるといいですね。

3. モデル事業に要した経費

モデル事業に要した経費を以下に整理する。

事業内容	合計	支出項目	支出金額
出張エコ広場	126,000	開催場所3地域ごとのちらし作成・印刷	60,000
		のぼり作成	60,000
		エコ広場会場費(第3回会場)	5,000
		出張エコ広場(第2回)テントリース料	1,000
シンポジウム	486,184	シンポジウム用ちらし等作成・印刷・配布費	213,084
		シンポジウム講師代・会場費	173,100
リユースパンフレット	363,071	逗子市リユースパンフレット印刷費	250,000
		逗子市リユースパンフレット配布費	113,071
効果測定(アンケート)	6,083	アンケート用紙等	5,433
		アンケート印刷費	650
合計	881,338		

3回開催した出張エコ広場での持ち込み量の総量は812kgであり、仮に1kgあたりのごみ処理経費を約52円（平成25年度実績）とすると、約42,000円の経費削減効果と推計される。ごみ処理経費削減効果のみでみると、出張エコ広場に要した経費を下回っているが、出張エコ広場の開催を通じた市民へのリユースの啓発効果や、地域づくりの効果を踏まえると、経費に見合う効果が得られたと考えられる。また、出張エコ広場の経費の多くは、チラシ、のぼりの作成費用であり、今後開催を継続する場合においては、既存のものを活用することで、より少ない経費での開催が可能になると考えられる。また、チラシの配布は、自治会・町内会の協力により掲示板への掲示、回覧を行った他、ニュース掲載、小学校の協力、ボランティアによる戸別配布を実施したこと、経費を抑えることができている。

リユースシンポジウムのチラシ及びリユースパンフレットは、デザイナーに作成を依頼し、「いいね！リユース」をキャッチコピーとして人目をひくデザインでカラー印刷し、広報など同時に全戸配布したが、リユースシンポジウムの集客、またリユースパンフレットへの反響を踏まえると、市民に対する啓発効果は大きかったと考えられる。

4. 次年度以降の計画について

本モデル事業の取組みは、いずれの場合もリユースに対する地元住民の高い関心と協力が背景としてあげられる。市役所のみの開設展示から、地域レベルでの出張エコ広場を開催したことは、地域でのリユース促進、ごみの減量につながっただけでなく、地域の人材おこし・モノの流れを通して地域コミュニティの交流を深めるなどの効果も得られた。

4.1 今後の予定

モデル事業での実験的な開催を通して、市民の関心や要望は高いことが伺われ、各地域での出張エコ広場は以下のとおり継続して開催することを検討・予定している。

イ) 体験学習施設スマイル

会場が市の施設であることから、会場使用についての調整が必要だが、子育てボランティアや、施設利用者、近隣の住民からの期待や関心度は高く、同じ敷地に市民プールがあることから、夏期のイベント実施を検討中である。

施設を利用している高校生学生委員会との交流も生まれ、今後連携してリユースのまちづくりをすすめていくことが期待される。

ロ) 西友逗子ハイランド

今回、地元住民がボランティアスタッフとして多く参加し、スーパーも大変協力的であり、5月から奇数月の第3金曜日・土曜日に定期的に開催することとなった。

ハ) 久木会館

自治会や小学校の協力およびボランティアスタッフのチラシ配布により、効果的な周知が図られた。今回開催をきっかけに、6月より年3回程度の定期開催を行う道筋ができた。空きスペースを有効利用して棚を使用し、常設のリユースコーナー（無人）を設置する予定である。

4.2 今後の課題

イ) 持ち込みのルールを確立することが必要である。持ち込む品物は、ごみになるものではなく、誰もが気軽に気持ち良くなりユース出来るものに徹底できるかが鍵である。

ロ) 公共の施設での開催は、会場使用料が発生する。継続して開催するには、予算確保がハードルとなる。

ハ) イベント開催後の片づけ、残ったものの処理をどうするか。逗子の場合は市内中央部（市役所）での常設会場「エコ広場」で対応できることがメリットである。今後のリユース事業者との連携を図るうえでも重要である。

ニ) 地域で開催したことにより、新たな利用者が生まれ、更なるリユースの活性化につながる一方で、ボランティアスタッフの確保が難しい。地域の人々の手により、地域でリユースされる仕組みが望まれる。

III. 愛知県武豊町

1. リユースモデル事業の概要

1.1 プランの概要

平成 23 年より住民から集めたリユース品を会場に展示、参加者が持ち帰るイベント「武豊リユースパーク」を実施しているが、その仕組みを踏襲して常設のリユース施設「武豊リユースステーション」の開設を町内事業者と連携しながら検討する。

「武豊リユースステーション」は資源回収拠点である「たけとよエコステーション」に併設する形で平成 27 年 1 月 6 日（火）に開設した。

（1）対象品目

町民の方から提供いただけたリユース品は、「キッチン用品」、「日用雑貨品」、「育児関係」、「衣料品関係」、「本・CD・DVD・ゲーム」とし、町が指定する処理困難物、家電リサイクル法対象品目（冷蔵庫・冷凍庫、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン）等は受付対象外とした。

一定期間、引き取り手が現れなかったリユース品については、資源物として処理可能なものはエコステーションで引き取る。資源物として処理できないものについては、武豊町にて適正処理を行う。

「武豊リユースステーション」で対象としたリユース品

品目	受付できない品目
キッチン用品	・汚れ、破損のひどい品物
日用雑貨品	・部品が欠品しており、機能に支障があるもの
育児関係	・町の指定で処分する“処理困難物”として扱われるもの
衣料品関係	・家電リサイクル法の対象製品
本・CD・DVD・ゲーム	・危険物、動植物、飲食物、化粧品、医薬品、その他法律上販売が禁止されているもの ・無線機など、使用の際に専門の知識を要するもの ・個人情報が漏えいする恐れのあるパソコンの周辺機器

（2）取組の概要

武豊リユースステーション開設に向けて、エコステーションの運営事業者である株式会社エイゼンと協議して、リユースステーションの運営方法の検討を行った。11 月に広報用ちらし・ポスターを作成し、町内の施設へ配布するとともに、イベントなどで取組の紹介を行った。

リユース品の提供は、エコステーションが営業している月～土曜日の 9：00～15：00 に受け付ける。リユース品を持ち込んだ町民は施設内のリユースボックスにリユース品を入れ、係員からリユース品交換券を受け取る。

リユース品の交換は、火・水・木の 13：00～15：00 に受け付ける。施設内に受け取りを希望するリユース品があれば、交換用紙に必要事項を記入の上、リユース品交換券と引き換えにリユース品を持ち帰ることができる。

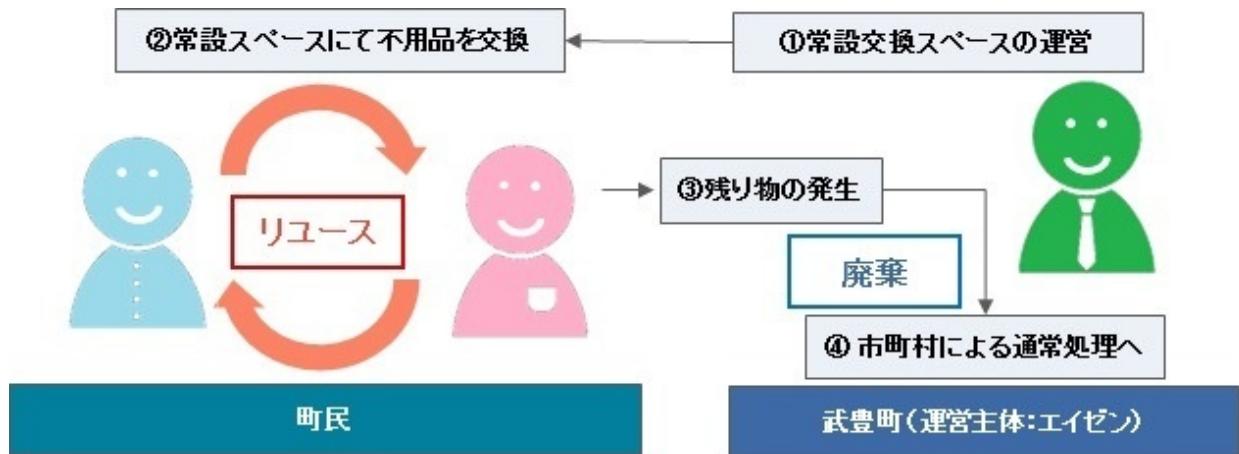
事業者は、町民から提供されたリユース品の陳列・展示や整理、提供品目別の重量やリユースされた品目別の重量、リユース品提供者数、交換者数などの記録を行う。

(3) 役割分担

武豊町は「リユースステーション」の責任者として、開設に向けた企画・準備、効果測定等を行う。たけとよエコステーションの運営事業者でもある株式会社エイゼンは、リユース品の受付・交換業務、リユース品の展示・整理等を行う。

・常設交換スペースの運営について自治体と事業者の役割分担まとめ

武豊町	株式会社エイゼン
開設に向けた企画・準備	運営準備
ちらし作成、広報への掲載による告知	リユース品の受付・交換業務
町民からのお問い合わせへの応対	リユース品の展示・整理
運営に関する状況確認	集客数や重量等の測定
効果測定の検証	アンケートの実施
今後の運営に関する検討	



武豊町ちらし

環境省 リユースモデル事業
再資源から再利用、暮らしがもっとエコになる。

武豊リユースステーション

Taketoyo reuse station

場所
たけとよエコステーション施設内

交換日時
毎週火・水・木曜日 13:00~15:00

武豊リユースステーションでごみ量の削減

町民のみなさんから「まだ使えるもの」を集めて、別に品物を再利用してもらうよう促す施設です。品物の再利用をするリユースは、リサイクルよりも環境負荷が低いため、今後の普及が望まれています。ご利用の流れは、裏面をご確認ください

「リユース」の次は「リサイクル」資源物の分別にもご協力ください

町内に資源回収施設「エコステーション」は2ヶ所
みなさんのご家庭から排出された資源物は、新たな製品にリサイクルするための材料として売買されています。資源物の売り払いによって武豊町の収入となった代金は、ごみ処理行政の運営費に使用されています。

「武豊リユースステーション」及び「エコステーション」についてのお問い合わせは、
株式会社エイゼン ☎ 72-3764 または、武豊町役場環境課 ☎ 72-1111まで

資源物の分別にもご協力ください

営業日時
月曜日～土曜日
9:00～15:00
エコステーションの場所については、裏面の地図をご覧ください

武豊リユースステーションご利用の流れ

1 リユース品を持ち込む
リユース品の提供
(月～土曜日 9:00～15:00)

2 施設内のリユースボックスに入れる

3 係員に声をかけてリユース品交換券を受け取り完了!

取り扱うリユース品について

受付できる品目

- ◆キッチン用品
- ◆日用雑貨品
- ◆育児関係
- ◆衣料品関係
- ◆本・CD・DVD・ゲーム

受付できない品目

- ・汚れ、破損のひどい品物
- ・部品が欠品しており、機能に支障があるもの
- ・町の指定で処分する際に“処理困難物”とされるものの
- ・家電リサイクル法の対象商品
(テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機)
- ・危険物、動植物、飲食物、化粧品、医薬品、その他法律上販売が禁止されているもの
- ・無線機など、使用的に専門の知識を要するもの
- ・個人情報が漏えいする恐れのあるパソコンの周辺機器

ご利用にあたっての注意事項

- ・施設内には、十分な駐車スペースはありません。他の利用者の方へのご配慮をお願いします。
- ・併設のたけとよエコステーションは、月～土曜日の営業ですが、リユース品の「交換」は、毎週火・水・木曜日のみとさせていただきます。リユース品の提供は、エコステーションの営業時であればいつでも可能です。
- ・本事業は試行事業のため、内容が変更となる場合があります。予めご了承下さい。

武豊町内のリユースショップ案内

ゲオ武豊口田店さんでもリユース品の取り扱いをしています。
●取扱い品目●
本・CD・DVD・ゲームソフト
ゲーム機本体・トレカ・携帯電話／スマホ
武豊町字口田11-1 ☎ 72-0614

1.2 広報・PRの方法

ちらし・ポスターの町内施設への配布、広報及びホームページへの記事の掲載、ごみに関する問い合わせの際の紹介などを実施した。

2. モデル事業の利用状況・問題点・効果について

2.1 モデル事業の利用状況について

武豊リユースステーションの1月～3月の提供重量、リユースされた重量、廃棄された重量は下記の通りである。日用雑貨品やキッチン用品のリユースされた重量が多い。

武豊リユースステーションの利用状況実績（1～3月分、単位：kg）

	キッチン用品	日用雑貨品	育児関係	衣料品関係	本・CD等	合計
リユース品 提供重量	358.3kg	622.5kg	140.6kg	272.5kg	409.8kg	1803.7kg
リユースされた重量	254.8kg	352.4kg	31.3kg	72.1kg	35.6kg	746.2kg
リユース率	71.1%	56.6%	22.3%	26.5%	8.7%	41.4%
廃棄重量	67.5kg	154.6kg	72.1kg	91.0kg	216.9kg	602.1kg

※平成26年度開催の「武豊リユースパーク」残重量分含む

(提供重量＝リユースされた重量+廃棄重量)とならないのは、現在武豊リユースステーション内に展示されている重量があるため

武豊リユースステーションの利用人数（1～3月分）

	提供者数	交換者数	ユニークユーザー	累計リピート人数
1月	126人	53人	44人	9人
2月	127人	94人	48人	55人
3月	121人	102人	31人	126人
合計	374人	249人	123人	126人

*初めての利用者には交換用紙の裏面にてアンケートを実施しているため、その回答数からユニークユーザー数を算出

2.2 モデル事業の問題点（事業者・利用者からのヒアリングを元に作成）

A. 運営面

(交換券について)

数量に関わらず1度のリユース品の提供につき、1枚の交換券を進呈という仕組みについて、提供点数1点につき交換券1枚にしてほしいという声が多くあった。
また、同様に交換券1枚につき持ち帰ることができる品物の点数が1点という制度についても少ないという声があった。
→現場において品物を見ながら柔軟に判断をしたが、今後も継続して行う事業であるため、交換券制度の再検討が必要である。

(展示品の検品作業について)

電子機器については、電源を入れても作動しない場合や付属部品が不足していることがあった。また、個人情報の漏えいやP L法等の問題が懸念されるため、対応についての検討が必要。

本については、成人向け雑誌が混ざっていたり、使用済みの塗り絵や日記が提供されることがあった。

CD、DVD、ゲーム類については、ケースと中身が異なっている品物が多く見られた。また、私的利用のためにダビングされたディスクも提供品の中に含まれていたので、検品作業に時間がかかった。

→検品作業に時間をかけることによる人件費の高騰や持ち帰ってもリユースできない品物・間違った品物であることを未然に防ぐためにも取扱品目の見直しが必要である。

B. 会場及び営業時間

(会場レイアウトについて)

提供される点数が増えてきたため、スペースが不足している。また、リユース品を見定めているうちに種類別に整理されている品物が混在してしまっている様子が多く見られた。そのため、リユース品の閲覧がしにくくなるのに加え、月末の棚卸時に重量の誤差が生じてしまっている。

→陳列用品の充実から品物のレイアウトの向上を狙い、リユースを促しながら、業務の簡素化を図りたい。また、取扱品目の見直しにより会場の整理をすることも必要なのではないか。

2.3 効果測定について

○リユースに関する実績整理

1月6日火曜日から3月26日木曜日に実施したモデル事業において、リユース品提供者…374人、リユース品交換者…249人、リユース品の提供重量…1,803.7kg、リユースされた重量…746.2kgという実績を得ることが出来た。

前頁の表から見ても利用者数は増加傾向にあり、町民にリユースが浸透してきているのではないかと判断する。

また、746.2kg リユースされたことでそれに伴うごみ・資源の運搬費や中間処理費を削減することができた。(約1万8千円の削減)

エコストーションの来場者が増加することによる駐車場の混雑等の問題は現状において発生しておらず、むしろ武豊リユースステーションの開業により、普段は来場者数の少なかった火・水・木曜日の午後に分散されている様子であった。さらに武豊リユースステーションの認知度が高まり来場者が増えることで、エコストーションでの資源物回収量の増加に伴う資源物売買に伴う町の歳入の増加にもつながるのではないかと考える。

○採算性について

本モデル事業に係った経費《税込》

広報費	223,560 円	A4チラシ両面カラー印刷…20,000枚 A2ポスター片面カラー印刷…200枚
看板作製費	140,940 円	A型サイン D600×H900+300 片面サイン 5台 アルミ枠 ポリウェイト 10個
会場清掃費	98,280 円	
消耗品費	298,158 円	陳列用コンテナ、交換用紙代など
合計	760,938 円	

次年度以降の本事業実施に際する採算性について

(必要経費)

人件費	497,250 円	リユース品交換受付業務…153日 週3日(火・水・木) 13~15時
諸経費	58,306 円	交換用紙代、陳列用具購入費など
消費税	44,444 円	
合計	600,000 円	

(事業展開に伴う町への利益) 《想定》 * モデル事業期間の実績3か月×4で算出

運搬費の削減	14,828 円	(746.2kg×4) ×4.6円×1.08
中間処理費の削減	58,024 円	(746.2kg×4) ×18円×1.08
資源回収量増加に伴う歳入増加	約 86,800 円	996人(249人×4) 増加により 約14,000kg 資源物回収量増加
合計	約 160,000 円	

* リユースされた品目を全て再資源不燃物と仮定し、処理費を計算した場合

* 資源回収量増加に伴う歳入増加は平成25年度の来場者数、資源回収量、資源売買量の割合から算出

【費用対効果のまとめ】

(必要経費) – (事業展開に伴う町への利益)

600,000 円 – 160,000 円 = 440,000 円分事業費として必要となる

○来場者アンケートの結果整理(1~3月実施)

*初めて武豊リユースステーションに来場した人を対象にアンケートを実施した。

*有効回答数人数 111人

Q1. 環境用語である4Rのうち、意味を知っているものはありますか？(複数回答可)	
A. リサイクル	106人
B. リユース	94人
C. リフューズ	11人
D. リデュース	23人
E. どれも知らない	1人
Q2. 普段からリユース活動をしていますか？	
A. している 以下、どのような方法で行っていますか？(複数回答可)	90人

リサイクルショップに持ち込む	40人
武豊リユースパークへの出品	48人
ネットオークション	14人
家族や友人にゆづる	45人
フリーマーケットやバザーに出店	18人
その他	0人
B. していない	16人
Q3. 武豊リユースステーションを通じて、「リユース」の意識が高くなりましたか？	
A. 非常に高くなった	72人
B. 少し高くなった	32人
C. あまり高くならなかった	0人
D. 変わらない	6人
Q4. 今後も武豊リユースステーションを利用したいと思いますか？	
A. 定期的に利用したい	95人
B. 機会があれば利用したい	16人
C. 利用したいとは思わない	0人

【自由記入欄への意見（代表的なものを抽出）】

- ・とても良い取り組みだと思います。是非続けてほしいです。
- ・どんどん品物が増えて、リユースコーナーが立派になればいいですね。武豊の町民もみんなが喜ばれる場所になることでしょう。今日初めて利用しましたが、たくさん品物があってびっくりしました。今の時代、モノ余りで共有してもらえるのが一番いいですね。
- ・リユースの実現は、私も大賛成です。これからも利用させていただきます。
- ・とても楽しく見せて頂きました。
- ・働いている方がとでも親切で嬉しかったです！
- ・高齢者のたまり場みたいになってちょっとした修理などもしてくれると生きがいになる人もいるかと思います。
- ・使わないけど捨てられないものがたくさんあるので、持って行ける場所が近くにできてすごく助かります
- ・リユース品のなかには、欲しいと思っていたものがあったりするので、見て回るのも楽しみです。知り合いにも教えてあげたい
- ・これってリユース品？処分したほうが…と感じるものもありました。
- ・交換券はリユース品提供1品につき1枚がうれしいな
- ・夕方5時までにして下さい。

○「武豊リユースステーション」次年度以降の計画の検討

今後の課題としては、2) モデル事業の問題点で挙げた通り、交換券制度及び取扱品目について見直さなくてはならないと考える。具体的には、リユース品提供者に渡している交換券の枚数の見直しもしくは交換券制度の廃止、リユース品の使用が困難なものや検品作業に時間を要する品目は受付品目から除外する等の検討が必要である。本事業を継続的な事業として展開させる

ためには、これらの問題点の改善・制度変更により諸経費及び人件費の削減へのアプローチを考えなくてはならない。

武豊リユースステーションをよりよい施設として町民にとって利用しやすく機能させるために本モデル事業期間を経て得ることが出来たこれらの反省点について27年度、28年度に改善方法の検討、実施をしていく。広域ごみ処理施設の建設に動いている本町において、本事業のような先進的な取組を継続させることで、町民の生活にリユース文化を根付かせ、環境への意識の高い町民を増やしていきたい。それにより、更なるごみの減量化の実現を果たし、「環境のまち武豊」を目指す。

「武豊リユースステーション」の様子



<ガソリンスタンドを改修したエコステーション>



<リユースステーションの入り口>



<リユース品の受付場所>



<リユース品の陳列の様子>



<衣類>



<おもちゃ>

武豊リユースステーション

リユース品交換券

＜交換時の注意事項＞

- ・引き換えたリユース品の輸入、使用、廃棄等で生じた損害について、武豊町及び株式会社エイゼンには一切の責任を負いません。
- ・家電製品をはじめリユース品の動作確認を行ってないことを承認した上で、引き換えを行います。
- ・リユース品引き換え後は個人で責任を伴って使用し、廃棄時には適切に処理します。

以上の注意事項を守ることを誓った上で、私はリユース品の引き換えを行います。

武豊リユースステーションへの ご利用につきましては、 エイゼンまたは直接連絡まで	受付印
--	-----

武豊リユースステーションへの
ご利用・お問い合わせは、
エイゼン ☎ 72-3764
福 境 ☎ 72-1111

<リユース交換券>

武豊リユースステーション交換用紙

【引き換え条件】 (各条件をよく読み、同意した上でリユース品の引き換えを行ってください)

引き換えたリユース品の輸入、使用、廃棄等で生じた損害について、武豊町及び株式会社エイゼンには一切の責任を負いません。
 家電製品をはじめとしたリユース品の動作確認を行っていないことを承認した上で、引き換えを行います。
 リユース品引き換え後は個人で責任を伴って使用し、廃棄時には適切に処理します。

上記の【引き換え条件】に同意した上、私はリユース品の引き換えを行います。

引き換え日 平成 年 月 日

【リユース品名】

リユース品引き換え者 住 所 武豊町 二 (町外の方は、欄外へお書きください) 氏 名 _____ (署名) 連絡先 () _____ 年齢 20代以下 30代 40代 50代 60代以上
--

初めて「武豊リユースステーション」をご利用頂の方は、裏面のアンケートにもご協力ください

<リユース交換用紙（申込用紙）>